



No. 5-1
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
平成29年度第5回

一般国道42号

しみず
冷水 拡 幅

ありだかいなん
有田海南道路

【再評価】

平成29年11月
近畿地方整備局

目次

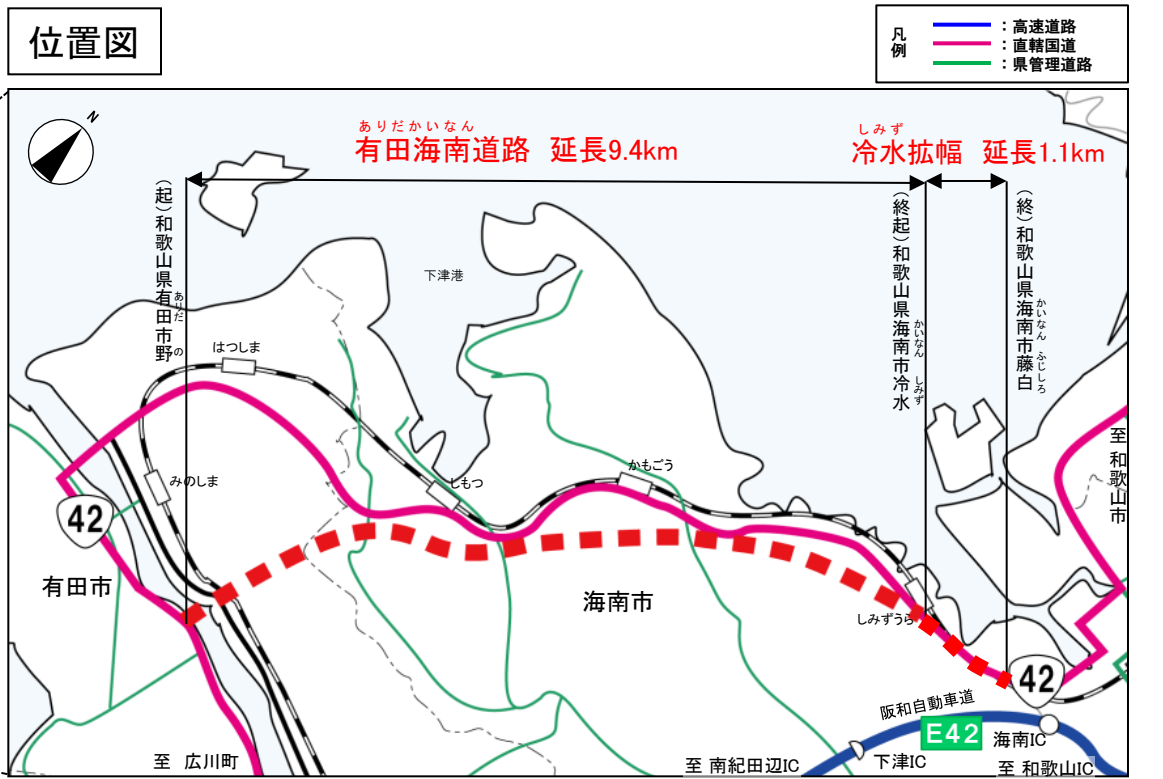
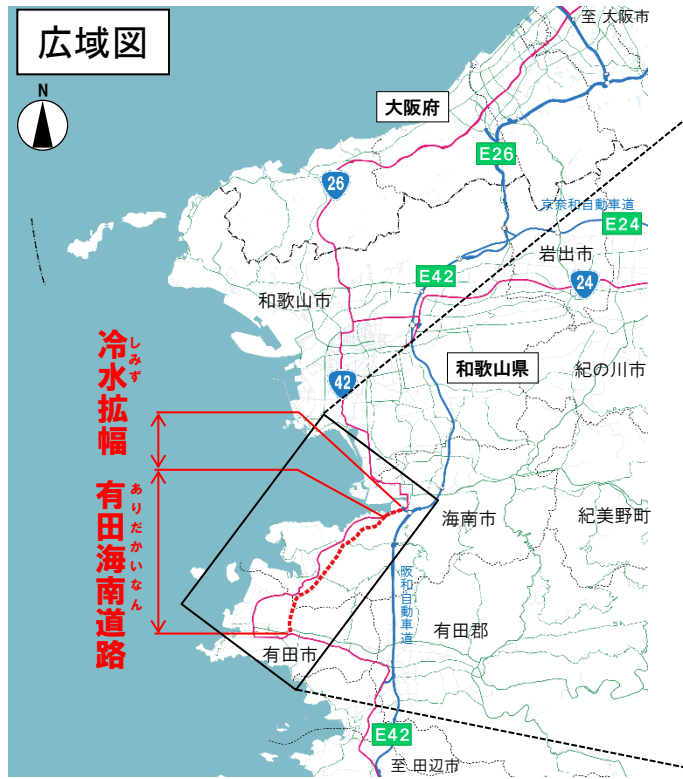
1. 事業の概要
2. 事業の必要性等に関する視点
 - 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化
 - 2) 事業の整備効果
 - 3) 事業の投資効果
 - 4) 地域における計画等
3. 事業の進捗の見込みの視点
4. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点
5. 関係自治体の意見
6. 対応方針(原案)

事業全体図

一般国道42号 冷水拡幅
 一般国道42号 有田海南道路

一般国道42号は浜松市を起点とし、伊勢市、海南市等を経て和歌山市に至る主要幹線道路であり、紀伊半島の太平洋沿岸を結ぶ広域的な幹線道路としての役割を担い、地域の社会経済活動や日常生活の基盤としての役割を果たしています。

冷水拡幅・有田海南道路は、交通混雑の緩和、交通安全の確保及び災害時における交通の確保を目的とした事業です。



1. 事業の概要

一般国道42号 冷水拡幅
一般国道42号 有田海南道路

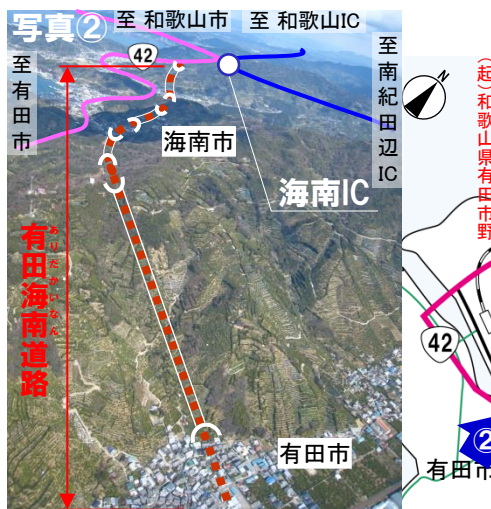
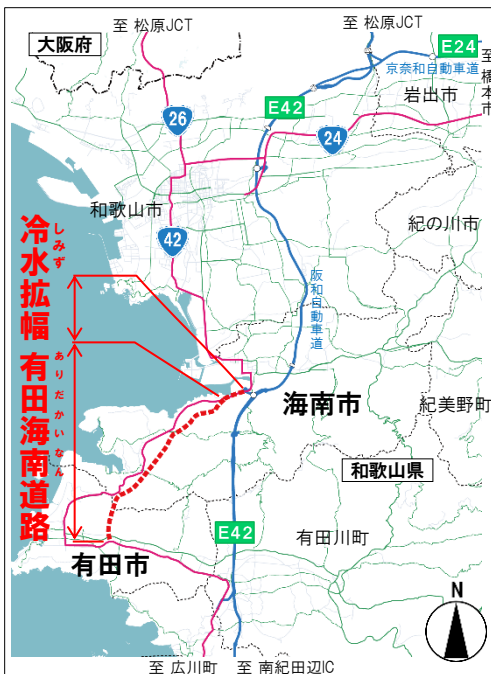
事業の目的

- 交通混雑の緩和
- 交通安全の確保
- 災害時における交通の確保

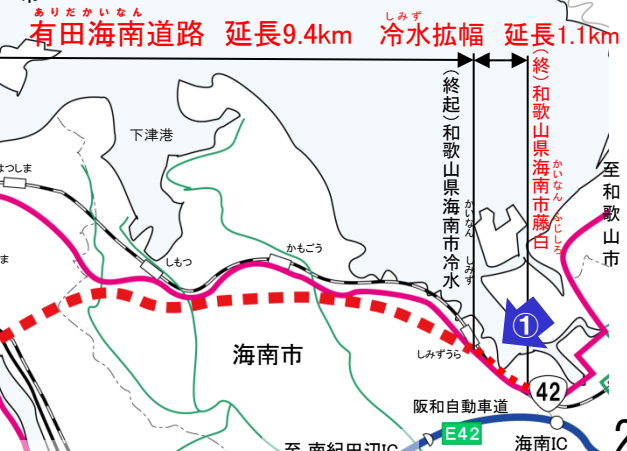
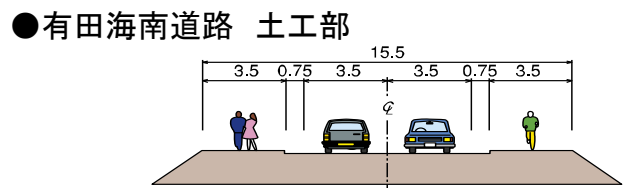
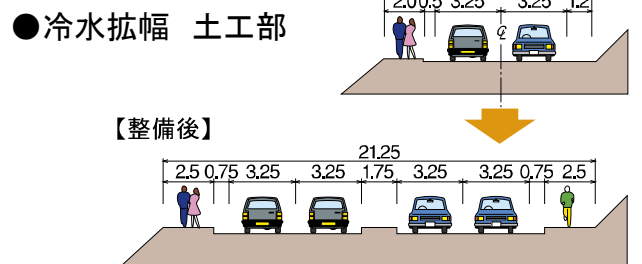
事業の概要、進捗状況

区間	【冷水拡幅】	【有田海南道路】
	<small>かいなん しみず</small> (起)和歌山県海南市冷水 <small>かいなん ふじしろ</small> (終)和歌山県海南市藤白	<small>あだの</small> (起)和歌山県有田市野 <small>かいなん しみず</small> (終)和歌山県海南市冷水
道路延長	1.1km	9.4km
構造規格	第3種第2級	第3種第2級
設計速度	60km/h	60km/h
車線数	4車線	2車線
標準幅員	21.25m	8.5m～16.75m
計画交通量	20,100台/日	10,600台/日
全体事業費	61億円	359億円
事業化	平成19年度	平成20年度
都市計画決定	平成20年3月	平成20年3月
用地着手	平成21年度	平成23年度
工事着手	平成23年度	平成28年度
事業進捗率	約54% (平成29年3月末現在)	約10% (平成29年3月末現在)
用地取得率	100%(面積ベース:同上)	約41%(面積ベース:同上)

位置図



標準断面図



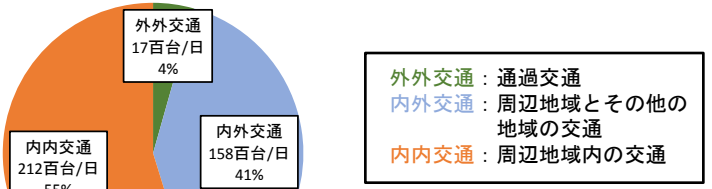
2. 事業の必要性等に関する視点

1) 事業を巡る社会情勢等の変化

- 事業区間における国道42号(現道)の交通特性は、周辺地域※に起終点がある内外交通が41%、周辺地域内に起終点がある 内内交通が55%となっている。
- 冷水拡幅、有田海南道路沿線の海南市、有田市は、近年、人口は減少傾向である。また、世帯数は横ばい傾向にある。

※周辺地域とは、当該事業が通過する海南市・有田市

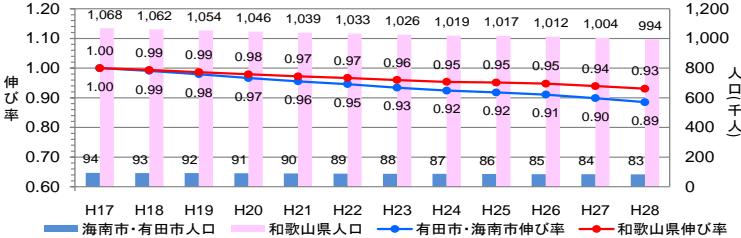
▼海南市、有田市の国道42号OD内訳



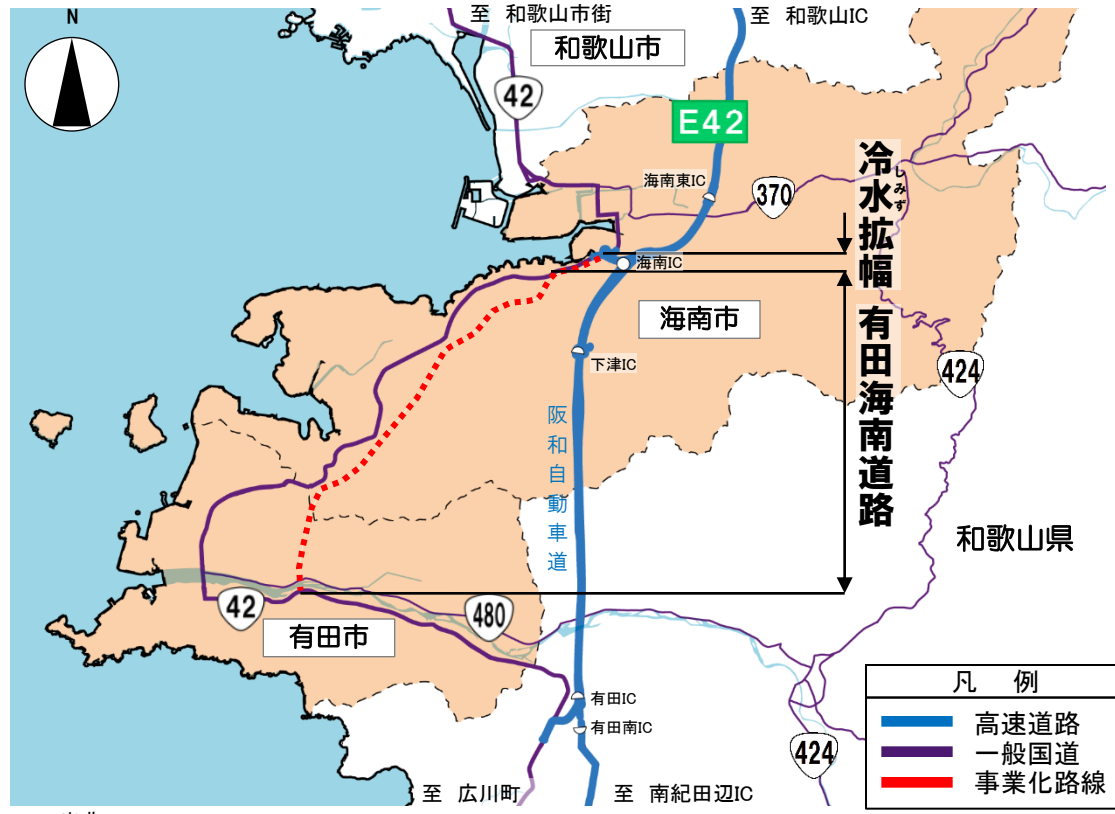
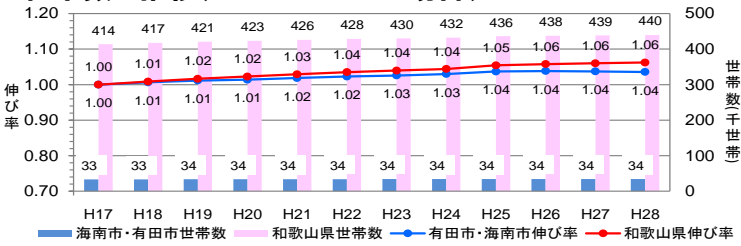
外外交通：通過交通
 内外交通：周辺地域とその他の地域の交通
 内内交通：周辺地域内の交通

※H17調査の現況OD調査結果を基に算出

▼人口の推移(H17を1.0とした場合)



▼世帯数の推移(H17を1.0とした場合)



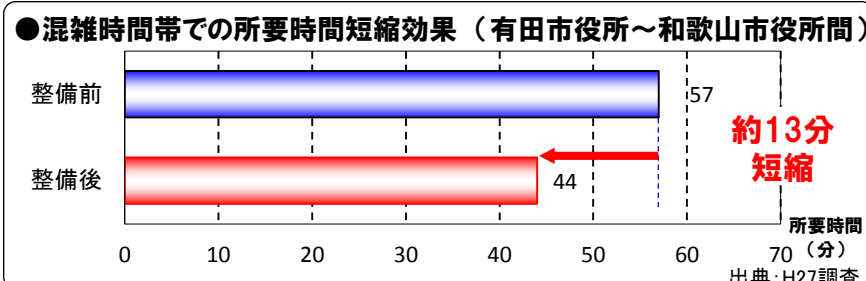
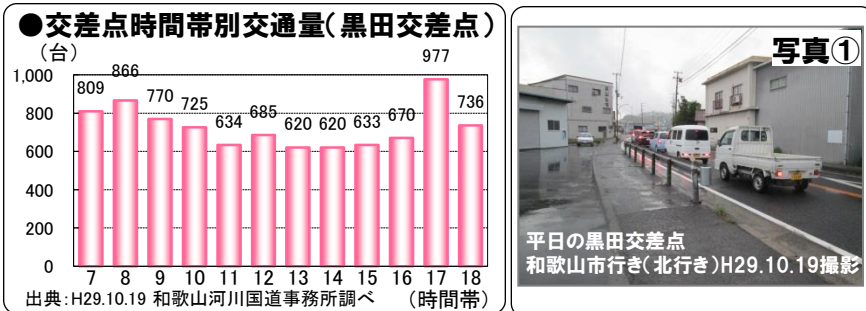
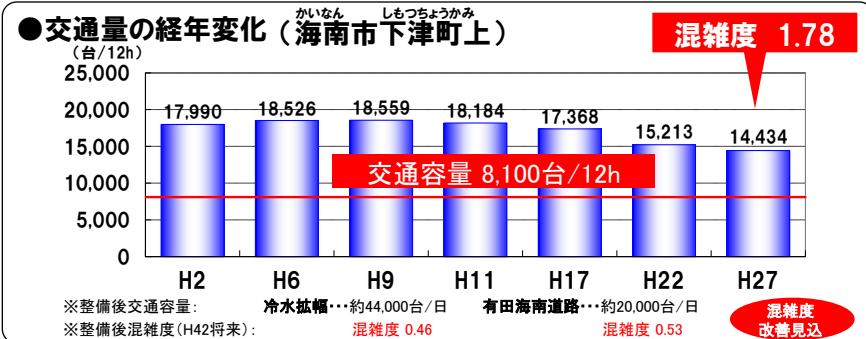
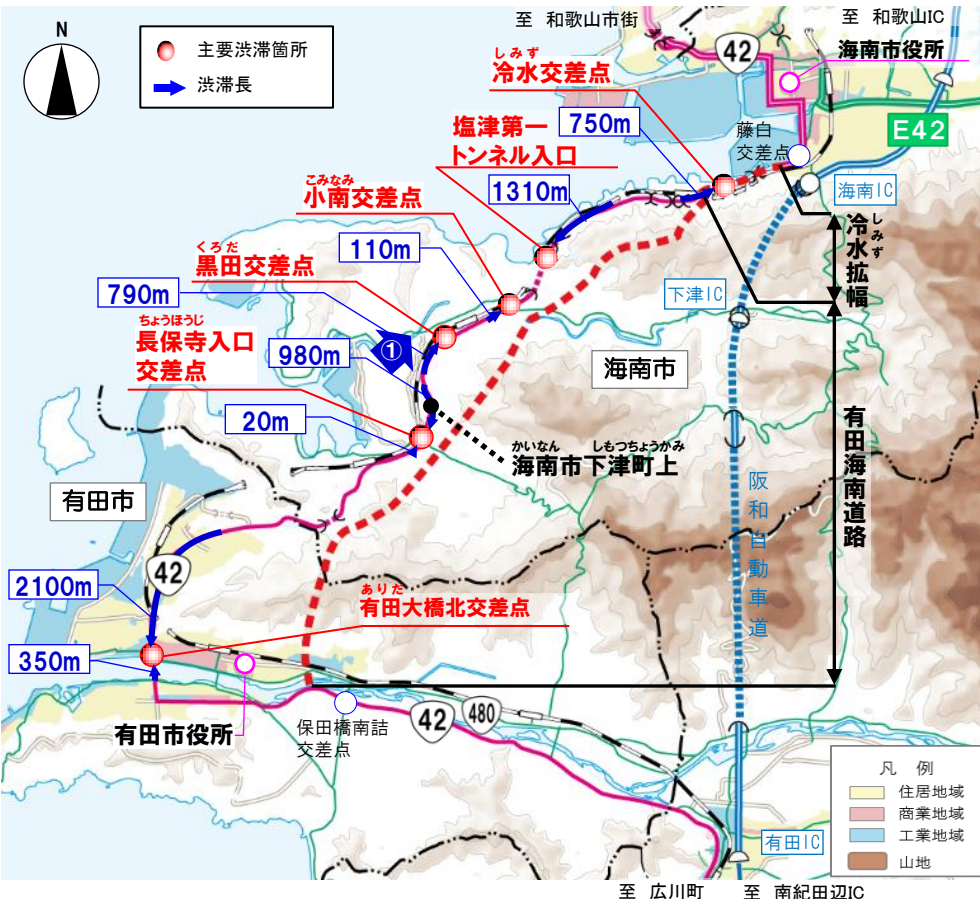
出典：人口・世帯数……住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査

2. 事業の必要性等に関する視点

一般国道42号 冷水拡幅
一般国道42号 有田海南道路

2) 事業の整備効果【交通混雑の緩和】

- 国道42号は有田市街地と海南市街地を結ぶ幹線道路であり、事業区間の交通量は約15,000台/日。
- 周辺地域の生活・通勤交通の集中と、道路の交通容量不足により渋滞が発生。
- 冷水拡幅・有田海南道路の整備により交通容量の拡大・交通量の転換が図られることで交通混雑の緩和が期待。



出典: H29.10.19和歌山河川国道事務所調べ

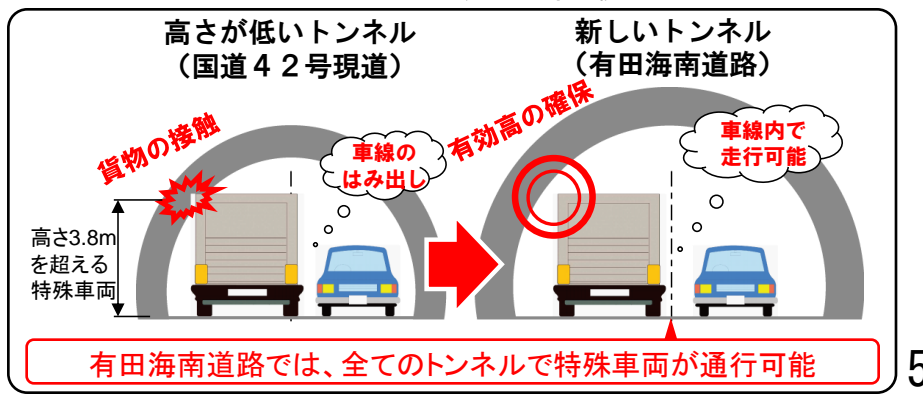
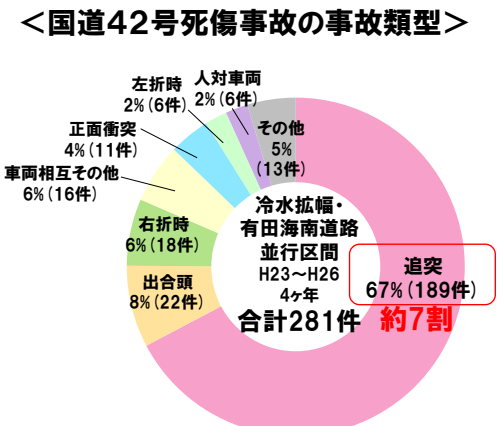
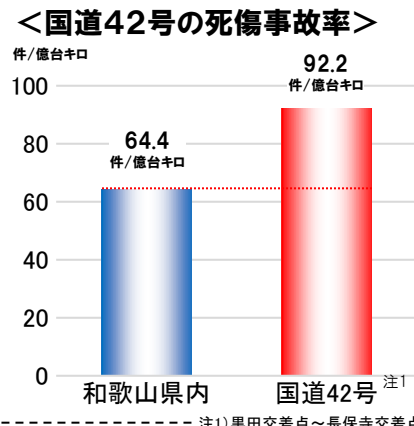
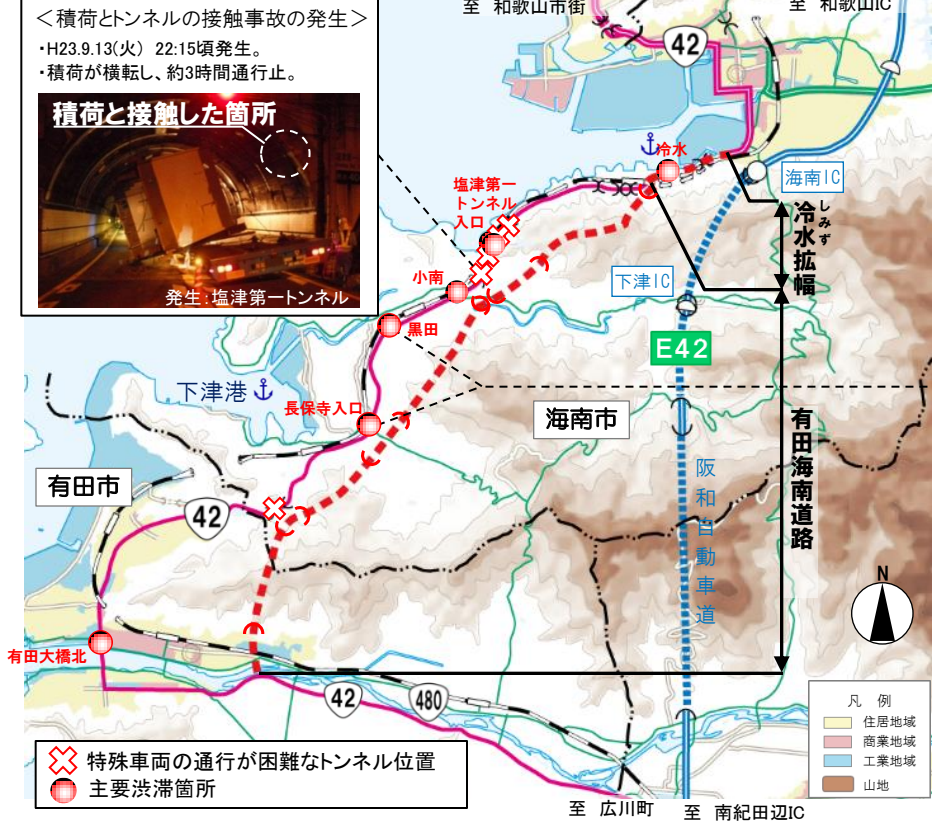
2. 事業の必要性等に関する視点

一般国道42号 冷水拡幅
一般国道42号 有田海南道路

2) 事業の整備効果【交通安全の確保】

- 事業区間と並行する国道42号の死傷事故は追突が約7割を占めており、特に黒田交差点～長保寺交差点で事故が多く、死傷事故率は県内平均を上回っている。
- 現道には高さ3.8mを超える特殊車両の通行が困難なトンネルが5箇所存在し、トンネルと特殊車両の積荷が接触する事故も発生。
- 冷水拡幅・有田海南道路の整備により、交通混雑の緩和に伴う追突事故の減少及び高さが低いトンネルを回避した交通ルートへの確保等、交通安全の確保が期待される。

● 特殊車両の通行が困難なトンネル位置



2. 事業の必要性等に関する視点

3) 事業の投資効果

■ 便益(B)

費用便益分析マニュアルに基づき、現時点における知見により、十分な精度で計測が可能でかつ金銭表現が可能である「走行時間短縮」、「走行経費減少」、「交通事故減少」について、道路整備の有無それぞれについて推計し算出。

■ 費用(C)

道路整備に係る建設費、及び維持管理費で算出。

■ 事業全体

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比(B/C)
	511億円	48億円	22億円	580億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	1.5
	366億円		27億円	393億円	

■ 算出条件等

基準年 : 平成29年度
 検討期間 : 50年間
 現在価値算出のための社会的割引率 : 4%
 交通量の推計時点 : 平成42年度
 推計に用いた資料 : 平成17年度
 道路交通センサス統合推計モデル【第二段階】

■ 残事業

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比(B/C)
	511億円	48億円	22億円	580億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	2.1
	247億円		27億円	274億円	

適用した費用便益分析

マニュアル : 平成20年11月版
 事業費 : 420億円
 維持管理費 : 18百万円/km
 作成主体 : 近畿地方整備局

- ※1 便益・費用については、現在価値化した値である
 ※2 便益・費用の合計値については、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある
 ※3 残事業については、基準年の翌年度以降の残事業費及び翌年度以降の供用により発生する便益で算出している
 ※4 事業区間を冷水拡幅として算出した費用便益比(B/C)【事業全体】1.1【残事業】3.4
 事業区間を有田海南道路として算出した費用便益比(B/C)【事業全体】1.6【残事業】2.1

4) 地域における計画等

■地域における計画

冷水拡幅、有田海南道路は、下記の計画に位置づけられています。

- ◆和歌山県長期総合計画 H29年度～H38年度(H29.4)
- ◆第4次有田市長期総合計画(後期基本計画) H28年度～H32年度(H28.3)
- ◆第2次海南市総合計画(案) H29年度～H38年度(H29.8)

■これまでの経緯

◆平成9年5月 国道42号・有田海南間整備促進協議会設立

(平成17年5月に国道42号・有田下津海南間整備促進協議会から上記名称に改称)

・構成メンバー 有田市長、海南市長、湯浅町長、有田市議会議長、
有田市議会総務建設委員長、有田市副市長、海南市議会議長、
海南市議会建設経済委員長、海南市副市長

(最近の動向) 平成28年3月20日に、有田海南道路の起工式を開催

3. 事業の進捗の見込みの視点

一般国道42号 冷水拡幅
 一般国道42号 有田海南道路

1) 事業の進捗状況

平成29年度事業内容

- ・【冷水拡幅区間】：改良工事推進。
- ・【有田海南道路区間】：用地取得、改良・橋梁・トンネル工事推進。

進捗状況

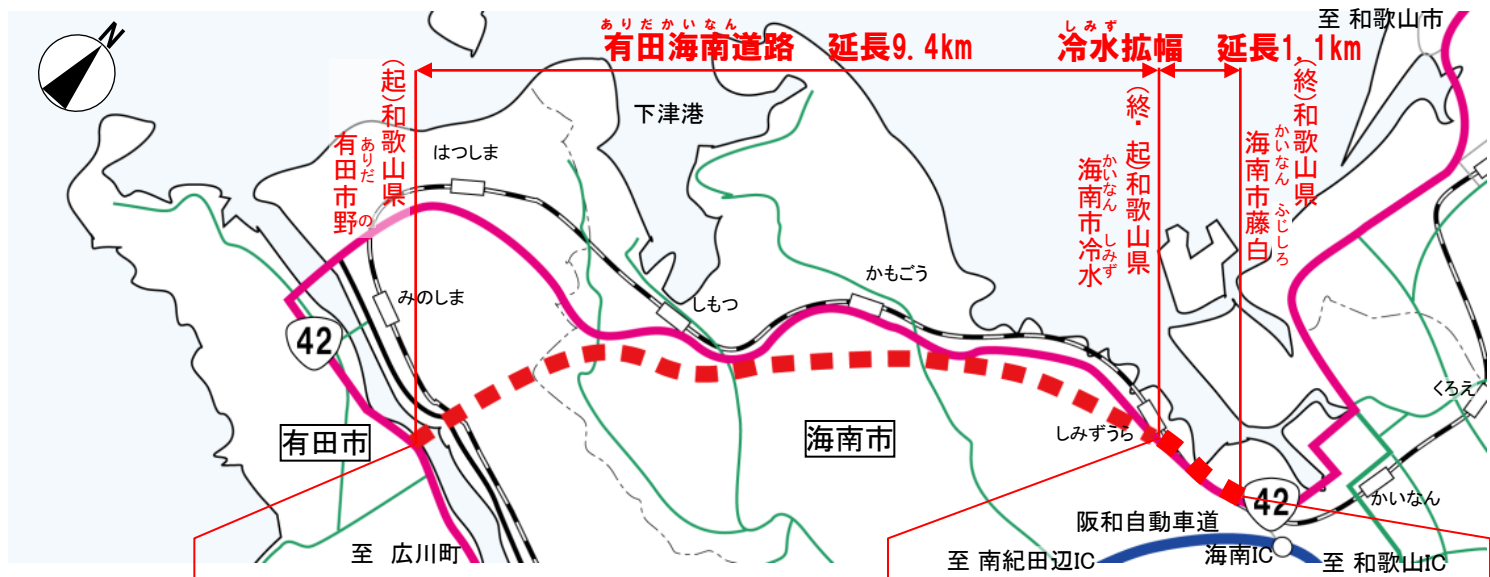
- ・平成28年度末までの進捗は、
- ・【冷水拡幅区間】：用地進捗率100%（面積ベース）、事業進捗率約54%（事業費ベース）
- ・【有田海南道路区間】：用地進捗率約41%（面積ベース）、事業進捗率約10%（事業費ベース）です。

事業進捗上の課題

- ・両事業ともに大きな課題はありません。

2) 今後の事業スケジュール等

- ・引き続き事業を推進し、早期の開通を目指します。



区間	有田海南道路(未開通区間)	冷水拡幅(未整備区間)
用地	用地取得率 41%	用地取得済
工事	改良・橋梁・トンネル工事推進	改良工事推進

※用地取得率は、H29年3月時点での面積ベース

■全体事業費の見直し（冷水拡幅）

○施工時仮設の見直しなどにより、増額12.4億円の事業費の増額が生じたため、約0.4億円のコスト縮減を図ったものの、事業費全体で約12億円の増額。

○全体事業費

冷水拡幅 49億円 ⇒ 61億円

■事業費増額の要因

○JRとの協議及び地質調査の結果、「施工時仮設の見直し」「橋梁形式等の変更」が生じたことによる増額。

○当初想定していた地質等の条件が異なったことによる擁壁の工法変更による増額。

○地質条件精査に伴い、当初想定に対して岩盤掘削量が増加したことによる増額。

単位：億円

No.	主な変更理由	合計
①	施工時仮設の見直し	4.0
②	橋梁形式等の変更	3.4
③	擁壁の工法変更による増加	2.3
④	地質条件精査による岩掘削の増加および法面対策変更	2.7
⑤	市道の取付位置変更によるコスト削減	-0.4
	合計	12.0

事業費の見直し

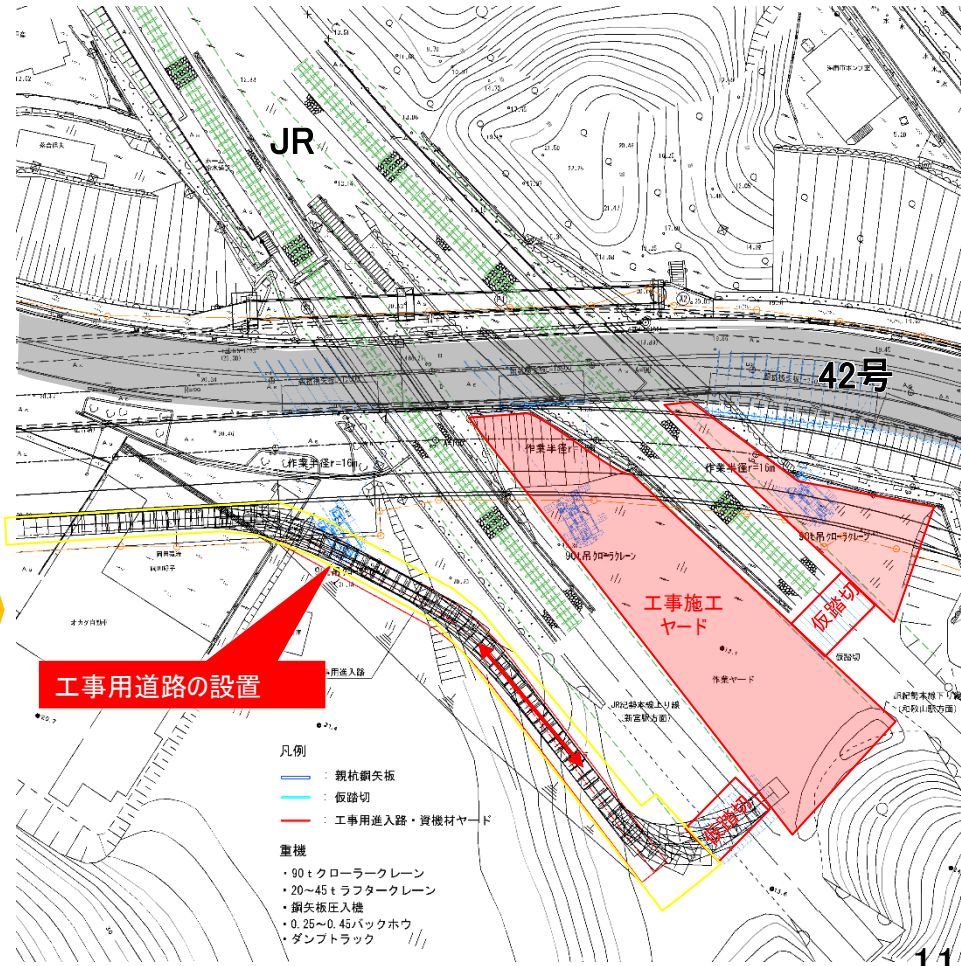
一般国道42号 冷水拡幅
 一般国道42号 有田海南道路

① 施工時仮設の見直し (+4.0億円)

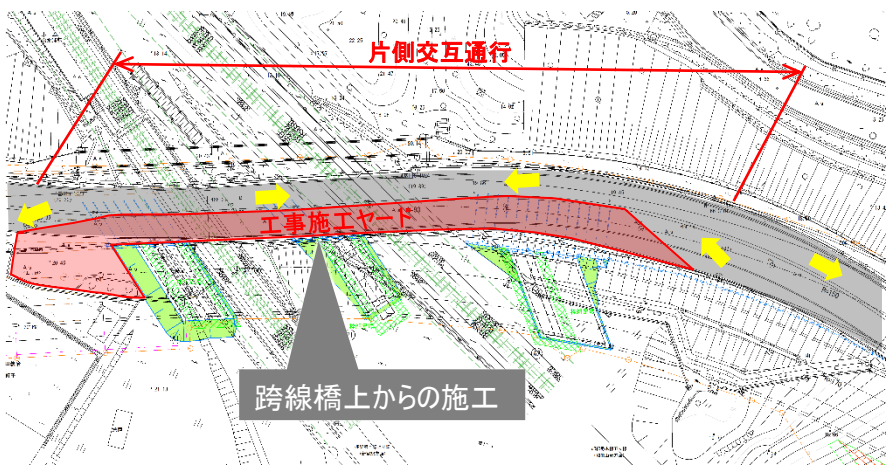
- 当初は跨線橋上からの施工を計画。
- 関係機関との協議の結果、JR敷地内に工事施工ヤードを設けて施工する計画とし、工事用道路を設置することとなった。



■ 見直し後施工計画



■ 見直し前施工計画



4. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

冷水拡幅・有田海南道路の計画は、一般国道42号の交通混雑の緩和、交通安全の確保、災害時における交通の確保等を勘案し選定された合理的な計画であり、周辺環境の保全を図りながら、引き続き事業を推進していきます。



今後も技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら、引き続き事業を推進していきます。

5. 関係自治体の意見

■和歌山県知事

平成29年11月15日 県総 第11020006号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

- ・一般国道42号冷水拡幅
- ・一般国道42号有田海南道路

国道42号冷水拡幅及び有田海南道路は、国道42号の渋滞解消や交通事故の減少を図るとともに、有田市及び海南市の生活圏の連携強化による地域活性化に資する道路であります。

また、国道42号の現道は南海トラフ巨大地震などによる津波で浸水することが想定されており、大規模地震への備えとしても整備が不可欠であることから、対応方針(原案)のとおり、事業継続が妥当と考えます。

なお、事業実施に当たっては、より一層のコスト縮減等に努め、一日も早い供用をお願いします。

5. 関係自治体の意見

◆沿線市町村の期待

■海南市長

(期待する効果)

①緊急輸送ネットワークの構築

・災害時における津波浸水エリアを回避した緊急輸送ネットワークが形成され、津波発生時における孤立地域の解消されるとともに、災害時の円滑な避難活動や防災活動が可能になる。

②交通利便性の向上

・国道42号の交通渋滞緩和により、海南市域・有田市域の交通利便性向上に期待。

③安全・安心な交通の確保

・国道42号での追突事故等の減少、当市内に位置する接触事故の危険性がある高さが低いトンネルを回避することによる重大事故の発生抑制を期待。

(市の取り組み)

①災害応急活動の体制づくり

・災害時に、迅速かつ的確に活動できるよう、情報収集・伝達体制や避難収容体制等、各体制の整備・構築を実施し、災害応急活動の体制づくりの充実化を促進。

②公共交通ネットワークの維持・確保

・市民の身近な交通手段である公共交通ネットワークの維持・確保のため、交通事業者等と連携した利用促進に向けた計画検討を進行。

◆沿線市町村の期待

■有田市長

(期待する効果)

①有田市における「命の道」

・南海トラフ巨大地震の想定津波浸水において、有田市では沿岸部の広範囲にて浸水が想定されており、国道42号等の幹線道路の寸断により孤立する地域も生じる。当該道路はこれら災害時において有田市各地への緊急輸送道路として機能し、避難路としての活用できるなど、住民を守る「命の道」として機能することを期待。

②交通渋滞の解消

・海南市と有田市を結ぶ国道42号において発生している交通渋滞の解消を期待。

③安全性向上

・交通転換に伴う有田市中心部を含む国道42号での交通事故の削減を期待。

(市の取り組み)

①大規模災害に向けた計画

・南海トラフ巨大地震に関わる地震防災対策の推進を目的に、津波からの防護、円滑な避難の確保、迅速な救助に関する事項、地震防災上緊急に整備すべき施設等の事項を定めた「南海トラフ地震防災対策推進計画」を平成28年3月に策定。

②市内道路網の整備推進

・他市町村との広域的な連携や交流を図るための幹線道路として国道42号有田海南道路を広域幹線道路として位置付け、市道については都市計画道路・幹線道路・生活道路を計画的に整備し、高齢化を考慮した交通バリアフリーに対応した道路整備を推進中。

6. 対応方針(原案)

1. 事業の必要性等に関する視点

- ・事業目的である交通混雑の緩和、交通安全の確保、災害時の交通確保が必要な状況は変化していない。
- ・有田市街地と海南市街地を結ぶ国道42号は交通容量が不足しており、渋滞が発生。整備により交通混雑の緩和が期待される。
- ・高さの低いトンネルの存在によりトンネルと特殊車両の積荷が接触する事故が発生。整備により安全性の向上が期待される。
- ・津波浸水地域を回避し災害時の避難路となるとともに、緊急輸送道路としてネットワークを形成する。
- ・費用便益比(B/C)は、事業全体で1.5、残事業で2.1。

2. 事業進捗の見込みの視点

- ・冷水拡幅は用地取得が完了、事業進捗は54%。有田海南道路は用地取得が41%、事業進捗は10%
- ・冷水拡幅では改良工事を推進中。有田海南道路では用地取得、改良・橋梁・トンネル工事を推進中。
- ・引き続き事業を推進し、早期の開通を目指す。

冷水拡幅及び有田海南道路は、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる。

引き続き事業を推進し、早期の開通を目指すことが適切である。

事業継続



No. 5-2-1
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
平成29年度第5回

一般国道42号
しみず
冷水拡幅
ありだかいなん
有田海南道路

【再評価】

平成29年11月
近畿地方整備局

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	国道42号 冷水拡幅
事業主体	近畿地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標		指標ユニットの根拠
前提条件	<p>指 標</p> <p>■ 便益が費用を上回っている</p>	<p>全体：費用便益比(B/C)=1.1 (経済的純現在価値(B-C)=5億円、経済的内部収益率(EIRR)=4.4%)</p> <p>採事業：費用便益比(B/C)=3.4 (経済的純現在価値(B-C)=49億円、経済的内部収益率(EIRR)=15.5%)</p>

●事業の効果や必要性を評価するための指標		指標ユニットの根拠
政策目標	<p>指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)</p> <p>□ 現道等における混雑時旅行速度が200m/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される</p> <p>□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上での踏切道の除却もしくは交通改善が期待される</p> <p>□ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する</p> <p>□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる</p> <p>■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる</p> <p>■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる</p> <p>■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる</p> <p>■ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISD規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する</p>	<p>指 標</p> <p>区間a (費用便益分析対象区間) について 法落損失時間 (現況) : 347万人・時間/年 法落損失削減時間 : 20万人・時間/年 (3196万人・時間/年=3175万人・時間/年) 並行区間等) について : (主) 海南金屋線 (東) 奥加茂駅停車線 並行区間等の法落損失削減率 : 21万人・時間/年 並行区間等の法落損失削減率 : 3割削減</p> <p>有田市～関西国際空港 (所要時間56分～58分)</p> <p>海南市～和歌山下津港 (所要時間63分～61分)</p> <p>みかん (118年収穫量 有田川町 全国2位)</p> <p>国道42号 (塩津第一トンネル、塩津第二トンネル)</p>
T. 活力	<p>円滑なモビリティの確保</p> <p>物流効率化の支援</p>	

1. 活力	都市の再生	
	<p><input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である</p> <p><input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する</p> <p><input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり</p> <p><input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である</p> <p><input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km²以下である市街地内での事業である</p> <p><input type="checkbox"/> 010区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する</p> <p><input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる</p> <p><input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A路線)の位置づけあり</p> <p><input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり</p> <p><input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する(A路線としての位置づけがある場合)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短时间内で連絡する路線を構成する</p> <p><input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する</p> <p><input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する</p> <p><input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する</p> <p><input type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される</p> <p><input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である</p> <p><input type="checkbox"/> 新規整備の公共施設施設へ直結する道路である</p> <p><input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である</p> <p><input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる</p> <p><input type="checkbox"/> ハリアフリー新法に基づく特定道路が新たにハリアフリー化される</p> <p><input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり</p> <p><input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)等の幹線道路において新たに無電柱化を達成する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる</p>	<p>有田市～和歌山市(所要時間：57分～56分)</p> <p>有田市～和歌山市</p> <p>有田市～和歌山県立医科大学付属病院(所要時間：43分～41分)</p>
	<p>国土・地域ネットワークの構築</p>	
	<p>個性ある地域の形成</p>	
	<p>2. 暮らし</p> <p>歩行者・自転車のための生活空間の形成</p> <p>無電柱化による美しい町並みの形成</p> <p>安全で安心して暮らすための確保</p>	

3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/徳台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童（園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合）において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する <input type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり <input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大規模な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する <input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A路線としての位置づけがある場合） <input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架設の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される <input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通確保区間を解消する <input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する <input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する <input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	海南市下津町（事前のルート：国道42号） 国道42号（第1次緊急輸送道路） 国道42号（有田市野～有田市赤水）
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：530.91t-CO2/年
	生活環境の改善・保全	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率 <input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率 <input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある <input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	（推計結果） 評価対象区間（現道/並行区間等）：（主）海南金屋線（県）興加茂線停車場線 排出削減量：1.95t/年、排出削減率0.6割削減 （推計結果） 評価対象区間（現道/並行区間等）：（主）海南金屋線（県）興加茂線停車場線 排出削減量：0.12t/年、排出削減率：0.6割削減
5. その他	他のソフト・ハードの関係	<input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている <input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり <input checked="" type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている <input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される	和歌山県長期総合計画、第4次有田市長期総合計画（後期基本計画）、第1次海南市総合計画（後期基本計画）に位置づけ。

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	国道42号 有田海南道路
事業主体	近畿地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

前提条件	指標	指標数値の根拠
事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全 体：費用便益比(B/C)=1.6 (経済的純現在価値(B-C)=195億円、経済的内部収益率(IRR)=6.4%) 採 業：費用便益比(B/C)=2.1 (経済的純現在価値(B-C)=270億円、経済的内部収益率(IRR)=8.4%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標数値の根拠
T. 活カ 円滑なモビリ ティの確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 現道の年間渋滞損失時間(人・時間)及び削減率 ■ 現道等における混雑時旅行速度が200m/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される □ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上かつ踏切道の除却もしくは交通改善が期待される □ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する □ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる ■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる ■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる ■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる ■ 現道等における、総重量25tの車両もしくはIS0規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する 	<p>区間a (費用便益分析対象区間) について 渋滞損失時間(現況)：3947万人・時間/年 渋滞損失削減時間：91万人・時間/年(3265万人・時間/年=3175万人・時間/年) 区間b (当該区間等) について：国道42号 海南吉備線 引尾下津線 萱掛糸我線 並行区間等の渋滞損失削減率：142万人・時間/年 並行区間等の渋滞損失削減率：8割削減</p> <p>国道42号 海南市下津町(18.2km/1改善見込)</p> <p>有田市～関西国際空港(所要時間56分～41分)</p> <p>海南市～和歌山下津港(所要時間63分～50分)</p> <p>みかん(118年収穫量 有田川町 全国2位)</p> <p>国道42号(塩津第一トンネル、塩津第二トンネル)</p>
物流効率化の支 援		

1. 活力	都市の再生	
	<p><input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である</p> <p><input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する</p> <p><input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり</p> <p><input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である</p> <p><input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km²以下である市街地内での事業である</p> <p><input type="checkbox"/> 010区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する</p> <p><input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる</p> <p><input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A路線)の位置づけあり</p> <p><input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり</p> <p><input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する(A路線としての位置づけがある場合)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短时间内で連絡する路線を構成する</p> <p><input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する</p> <p><input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する</p> <p><input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する</p> <p><input type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される</p> <p><input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である</p> <p><input type="checkbox"/> 新規整備の公共施設施設へ直結する道路である</p> <p><input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である</p> <p><input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる</p> <p><input type="checkbox"/> ハリアフリー新法に基づく特定道路が新たにハリアフリー化される</p> <p><input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり</p> <p><input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)等の幹線道路において新たに電柱化を達成する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる</p>	<p>有田市～和歌山市(所要時間：57分～46分)</p> <p>有田市～和歌山市</p> <p>有田市～和歌山県立医科大学付属病院(所要時間：43分～31分)</p>
	<p>国土・地域ネットワークの構築</p>	
	<p>個性ある地域の形成</p>	
	<p>2. 暮らし</p> <p>歩行者・自転車のための生活空間の形成</p> <p>無電柱化による美しい町並みの形成</p> <p>安全で安心して暮らすための確保</p>	

(再評価)

様式-2

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道42号	有田海南道路 ・冷水拡幅	L=10.5km	二次改築	BP・現拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
11,900	2、4	近畿地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成29年度		
単純合計	391億円	85億円	477億円
うち残事業分	281億円	85億円	366億円
基準年における 現在価値 (C)	366億円	27億円	393億円
うち残事業分	247億円	27億円	274億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成29年度			
供用年	平成35年度、平成38年度			
単年便益 (初年便益)	3.3億円	0.19億円	0.08億円	3.5億円
基準年における 現在価値 (B)	511億円	48億円	22億円	580億円
うち残事業分	511億円	48億円	22億円	580億円

注) 「供用年」は、便益算定上の仮定の供用年である。

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.5
経済的純現在価値（事業全体）	187億円
経済的内部収益率（事業全体）	6.5%
費用便益比（残事業）	2.1
経済的純現在価値（残事業）	306億円
経済的内部収益率（残事業）	8.7%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	11,900台/日	±10%	1.2~1.8
事業費	281億円	±10%	1.4~1.6
事業期間	8年	±20%	1.4~1.6

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	11,900台/日	±10%	1.8~2.5
事業費	281億円	±10%	1.9~2.3
事業期間	8年	±20%	2.0~2.3

交通状況の変化

様式-3①

事業名：有田海南道路・冷水拡幅（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (10.5km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	18,200	11,900	
	走行時間 ^{※2}	[分]	3	21	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	8.98	41.63	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道42号 (11.6km)	交通量	[台/日]	15,600	6,800
		走行時間	[分]	25	20
		走行時間費用	[億円/年]	64.05	21.70
	国道480号 (9.6km)	交通量	[台/日]	5,100	4,700
		走行時間	[分]	17	17
		走行時間費用	[億円/年]	15.55	13.93
	(県)海南 吉備線 (13.3km)	交通量	[台/日]	2,500	600
		走行時間	[分]	61	35
		走行時間費用	[億円/年]	27.65	4.11
	(県)引尾 下津線 (9.0km)	交通量	[台/日]	200	100
		走行時間	[分]	20	20
		走行時間費用	[億円/年]	0.91	0.85
	(県)沓掛 系我線 (4.3km)	交通量	[台/日]	600	0
		走行時間	[分]	9	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.90	0.00
③その他道路合計 (3,234.1km)	走行時間費用	[億円/年]	3,030.37	3,031.11	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：3,292.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	3,148.41	3,113.32	35.08

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面 (①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式-3①

事業名：有田海南道路・冷水拡幅（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (10.5km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	18,200	11,900	
	走行時間 ^{※2}	[分]	3	21	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	8.98	41.63	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道42号 (11.6km)	交通量	[台/日]	15,600	6,800
		走行時間	[分]	25	20
		走行時間費用	[億円/年]	64.05	21.70
	国道480号 (9.6km)	交通量	[台/日]	5,100	4,700
		走行時間	[分]	17	17
		走行時間費用	[億円/年]	15.55	13.93
	(県)海南 吉備線 (13.3km)	交通量	[台/日]	2,500	600
		走行時間	[分]	61	35
		走行時間費用	[億円/年]	27.65	4.11
	(県)引尾 下津線 (9.0km)	交通量	[台/日]	200	100
		走行時間	[分]	20	20
		走行時間費用	[億円/年]	0.91	0.85
(県)沓掛 系我線 (4.3km)	交通量	[台/日]	600	0	
	走行時間	[分]	9	0	
	走行時間費用	[億円/年]	0.90	0.00	
③その他道路合計 (3,234.1km)	走行時間費用	[億円/年]	3,030.37	3,031.11	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：3,292.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	3,148.41	3,113.32	35.08

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面 (①、②に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：有田海南道路・冷水拡幅

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成29年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計 いずれかのみ推計の場合 いずれかのみ推計とした理由を記載	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサスベース)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ 考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由 小規模事業である	<input type="checkbox"/>
	山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
その他() 簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度 採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>

(3)

項目		チェック欄	
休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
		対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
		採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
		とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載			
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>	
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>	
その他			

便益の算定

事業名：有田海南道路・冷水拡幅

(4)

項目		チェック欄		
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他()	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載		
		既存の路線の実績を参考に設定		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない		<input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する		<input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)				
その他				
4. その他				

費用の現在価値算定表(事業全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道42号 有田海南道路・冷水拡幅

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.18	10.5	1.84

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-19年目	H 19	1.4802	105.0	4.06	5.89		
-18年目	H 20	1.4233	104.4	1.39	1.95		
-17年目	H 21	1.3686	103.0	3.32	4.54		
-16年目	H 22	1.3159	101.3	4.74	6.34		
-15年目	H 23	1.2653	99.8	1.95	2.55		
-14年目	H 24	1.2167	99.0	2.68	3.38		
-13年目	H 25	1.1699	99.0	4.96	6.03		
-12年目	H 26	1.1249	101.5	7.61	8.68		
-11年目	H 27	1.0816	102.9	8.48	9.17		
-10年目	H 28	1.0400	102.9	20.08	20.88		
-9年目	H 29	1.0000	102.9	51.59	51.59		
-8年目	H 30	0.9615	102.9	53.67	51.60		
-7年目	H 31	0.9246	102.9	47.14	43.59		
-6年目	H 32	0.8890	102.9	70.07	62.30		
-5年目	H 33	0.8548	102.9	35.37	30.23		
-4年目	H 34	0.8219	102.9	45.23	37.18		
部分供用開始	H 35	0.7903	102.9	13.89	10.98	0.31	0.24
部分1年目	H 36	0.7599	102.9	12.04	9.15	0.31	0.23
部分2年目	H 37	0.7307	102.9	3.21	2.35	0.31	0.22
供用開始年次	H 38	0.7026	102.9			1.70	1.20
1年目	H 39	0.6756	102.9			1.70	1.15
2年目	H 40	0.6496	102.9			1.70	1.11
3年目	H 41	0.6246	102.9			1.70	1.06
4年目	H 42	0.6006	102.9			1.70	1.02
5年目	H 43	0.5775	102.9			1.70	0.98
6年目	H 44	0.5553	102.9			1.70	0.95
7年目	H 45	0.5339	102.9			1.70	0.91
8年目	H 46	0.5134	102.9			1.70	0.87
9年目	H 47	0.4936	102.9			1.70	0.84
10年目	H 48	0.4746	102.9			1.70	0.81
11年目	H 49	0.4564	102.9			1.70	0.78
12年目	H 50	0.4388	102.9			1.70	0.75
13年目	H 51	0.4220	102.9			1.70	0.72
14年目	H 52	0.4057	102.9			1.70	0.69
15年目	H 53	0.3901	102.9			1.70	0.66
16年目	H 54	0.3751	102.9			1.70	0.64
17年目	H 55	0.3607	102.9			1.70	0.61
18年目	H 56	0.3468	102.9			1.70	0.59
19年目	H 57	0.3335	102.9			1.70	0.57
20年目	H 58	0.3207	102.9			1.70	0.55
21年目	H 59	0.3083	102.9			1.70	0.53
22年目	H 60	0.2965	102.9			1.70	0.51
23年目	H 61	0.2851	102.9			1.70	0.49
24年目	H 62	0.2741	102.9			1.70	0.47
25年目	H 63	0.2636	102.9			1.70	0.45
26年目	H 64	0.2534	102.9			1.70	0.43
27年目	H 65	0.2437	102.9			1.70	0.42
28年目	H 66	0.2343	102.9			1.70	0.40
29年目	H 67	0.2253	102.9			1.70	0.38
30年目	H 68	0.2166	102.9			1.70	0.37
31年目	H 69	0.2083	102.9			1.70	0.35
32年目	H 70	0.2003	102.9			1.70	0.34
33年目	H 71	0.1926	102.9			1.70	0.33
34年目	H 72	0.1852	102.9			1.70	0.32
35年目	H 73	0.1780	102.9			1.70	0.30
36年目	H 74	0.1712	102.9			1.70	0.29
37年目	H 75	0.1646	102.9			1.70	0.28
38年目	H 76	0.1583	102.9			1.70	0.27
39年目	H 77	0.1522	102.9			1.70	0.26
40年目	H 78	0.1463	102.9			1.70	0.25
41年目	H 79	0.1407	102.9			1.70	0.24
42年目	H 80	0.1353	102.9			1.70	0.23
43年目	H 81	0.1301	102.9			1.70	0.22
44年目	H 82	0.1251	102.9			1.70	0.21
45年目	H 83	0.1203	102.9			1.70	0.20
46年目	H 84	0.1157	102.9	-2.57	-0.30	1.70	0.20
47年目	H 85	0.1112	102.9			1.40	0.16
48年目	H 86	0.1069	102.9			1.40	0.15
49年目	H 87	0.1028	102.9	-24.12	-2.48	1.40	0.14
合計				364.79	365.60	85.19	27.34
単純事業費計				391.48		85.19	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

箇所名:一般国道42号 有田海南道路・冷水拡幅

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.18	10.5	1.84

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-8年目	H 30	0.9615	102.9	53.67	51.60		
-7年目	H 31	0.9246	102.9	47.14	43.59		
-6年目	H 32	0.8890	102.9	70.07	62.30		
-5年目	H 33	0.8548	102.9	35.37	30.23		
-4年目	H 34	0.8219	102.9	45.23	37.18		
部分供用開始	H 35	0.7903	102.9	13.89	10.98	0.31	0.24
部分1年目	H 36	0.7599	102.9	12.04	9.15	0.31	0.23
部分2年目	H 37	0.7307	102.9	3.21	2.35	0.31	0.22
供用開始年次	H 38	0.7026	102.9			1.70	1.20
1年目	H 39	0.6756	102.9			1.70	1.15
2年目	H 40	0.6496	102.9			1.70	1.11
3年目	H 41	0.6246	102.9			1.70	1.06
4年目	H 42	0.6006	102.9			1.70	1.02
5年目	H 43	0.5775	102.9			1.70	0.98
6年目	H 44	0.5553	102.9			1.70	0.95
7年目	H 45	0.5339	102.9			1.70	0.91
8年目	H 46	0.5134	102.9			1.70	0.87
9年目	H 47	0.4936	102.9			1.70	0.84
10年目	H 48	0.4746	102.9			1.70	0.81
11年目	H 49	0.4564	102.9			1.70	0.78
12年目	H 50	0.4388	102.9			1.70	0.75
13年目	H 51	0.4220	102.9			1.70	0.72
14年目	H 52	0.4057	102.9			1.70	0.69
15年目	H 53	0.3901	102.9			1.70	0.66
16年目	H 54	0.3751	102.9			1.70	0.64
17年目	H 55	0.3607	102.9			1.70	0.61
18年目	H 56	0.3468	102.9			1.70	0.59
19年目	H 57	0.3335	102.9			1.70	0.57
20年目	H 58	0.3207	102.9			1.70	0.55
21年目	H 59	0.3083	102.9			1.70	0.53
22年目	H 60	0.2965	102.9			1.70	0.51
23年目	H 61	0.2851	102.9			1.70	0.49
24年目	H 62	0.2741	102.9			1.70	0.47
25年目	H 63	0.2636	102.9			1.70	0.45
26年目	H 64	0.2534	102.9			1.70	0.43
27年目	H 65	0.2437	102.9			1.70	0.42
28年目	H 66	0.2343	102.9			1.70	0.40
29年目	H 67	0.2253	102.9			1.70	0.38
30年目	H 68	0.2166	102.9			1.70	0.37
31年目	H 69	0.2083	102.9			1.70	0.35
32年目	H 70	0.2003	102.9			1.70	0.34
33年目	H 71	0.1926	102.9			1.70	0.33
34年目	H 72	0.1852	102.9			1.70	0.32
35年目	H 73	0.1780	102.9			1.70	0.30
36年目	H 74	0.1712	102.9			1.70	0.29
37年目	H 75	0.1646	102.9			1.70	0.28
38年目	H 76	0.1583	102.9			1.70	0.27
39年目	H 77	0.1522	102.9			1.70	0.26
40年目	H 78	0.1463	102.9			1.70	0.25
41年目	H 79	0.1407	102.9			1.70	0.24
42年目	H 80	0.1353	102.9			1.70	0.23
43年目	H 81	0.1301	102.9			1.70	0.22
44年目	H 82	0.1251	102.9			1.70	0.21
45年目	H 83	0.1203	102.9			1.70	0.20
46年目	H 84	0.1157	102.9	0.00	0.00	1.70	0.20
47年目	H 85	0.1112	102.9			1.40	0.16
48年目	H 86	0.1069	102.9			1.40	0.15
49年目	H 87	0.1028	102.9	-7.17	-0.74	1.40	0.14
合計				273.45	246.64	85.19	27.34
単純事業費計				280.62		85.19	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

(全事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
国道42号	冷水拡幅	4	1.1km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費			式	1	3,216	
	改良費		式	1	1,645	
		土工	m ³	145,000	509	切土(97,000m ³)、盛土(48,000m ³)
		軟弱地盤改良工	m ³	1,400	11	
		法面工	m ²	1,150	306	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	812	重力式、補強土壁、大型ブロック
		函渠工	m	55	7	
	橋梁費		m	107	1,271	
		100m以上	m	107	1,271	
		100m未満	m			
	トンネル費		m			
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費		箇所			
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費		m ²	32,900	89	
		車道舗装	m ²	27,500	71	
		歩道舗装	m ²	5,400	18	
	付帯施設費		式		211	
交通管理施設工		式				
その他		式	1	211	道路切り回し	
②用地及補償費		式	1	600		
用地費		m ²	30,383	257		
	宅地	m ²	23,583	215		
	田畑	m ²	495	4		
	山林・原野	m ²	6,305	38		
	補償費	式	1	343		
③間接経費		式	1	2,284	地質調査、測量、設計にかかる費用等	
事業費合計				6,100		

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

(全事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
国道42号	有田海南道路	2	9.4km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費			式	1	24,541	
	改良費		式	1	881	
		土工	m ³	379,583	273	切土(144,648m ³)、盛土(234,935m ³)
		軟弱地盤改良工	式	1	59	
		法面工	m ²	20,000	129	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	353	補強土壁、大型ブロック積、ブロック積
		函渠工	m	430	67	
	橋梁費		m	733	4,641	
		100m以上	m	527	3,690	
		100m未満	m	206	951	
	トンネル費		m	6,510	18,329	
		NATM	m	6,510	18,329	1～5号トンネル
		シールド	m			
	IC・JCT費		箇所			
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費		m ²	56,257	486	
		車道舗装	m ²	51,282	465	
		歩道舗装	m ²	4,975	21	
	付帯施設費		式		204	
		交通管理施設工	式	1	204	
その他		式				
②用地及補償費		式	1	4,743		
	用地費		m ²	78,634	2,412	
		宅地	m ²	15,609	1,442	
		田畑	m ²	62,265	940	
		山林・原野	m ²	760	30	
補償費	式	1	2,331			
③間接経費		式	1	6,616	地質調査、測量、設計にかかる費用等	
事業費合計					35,900	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道42号	冷水拡幅	4	1.1km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	1.1	200	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	1,450	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			1,650	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道42号	有田海南道路	2	9.4km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	9.4	1,600	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	5,950	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			7,550	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

(残事業)

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
国道42号	冷水拡幅	4	1.1km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費			式	1	1,424	
	改良費		式	1	845	
		土工	m ³	97,000	267	切土(72,400m ³)、盛土(24,600m ³)
		軟弱地盤改良工	m ³	400	3	
		法面工	m ²	700	272	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	302	重力式、補強土壁、大型ブロック
		函渠工	m	5	1	
	橋梁費		m	107	490	
		100m以上	m	107	490	
		100m未満	m			
	トンネル費		m			
		NATM	m			
	シールド	m				
	IC・JCT費		箇所			
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費		m ²	32,900	89	
		車道舗装	m ²	27,500	71	
		歩道舗装	m ²	5,400	18	
	付帯施設費		式			
		交通管理施設工	式			
その他		式				
②用地及補償費		式	1	30		
用地費		m ²				
	宅地	m ²				
	田畑	m ²				
	山林・原野	m ²				
補償費		式	1	30		
③間接経費		式	1	384	地質調査、測量、設計にかかる費用等	
事業費合計				1,838		

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

(残事業)

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
国道42号	有田海南道路	2	9.4km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費			式	1	22,346	
	改良費		式	1	527	
		土工	m ³	349,156	251	切土(126,435m ³)、盛土(222,721m ³)
		軟弱地盤改良工	式	1	10	
		法面工	m ²	20,000	129	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	100	補強土壁、大型ブロック積、ブロック積
		函渠工	m	238	37	
	橋梁費		m	709	3,140	
		100m以上	m	503	2,189	
		100m未満	m	206	951	
	トンネル費		m	6,460	17,989	
		NATM	m	6,460	17,989	1～5号トンネル
		シールド	m			
	IC・JCT費		箇所			
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費		m ²	56,257	486	
		車道舗装	m ²	51,282	465	
		歩道舗装	m ²	4,975	21	
	付帯施設費		式		204	
		交通管理施設工	式	1	204	
その他		式				
②用地及補償費		式	1	1,715		
	用地費		m ²	44,052	717	
		宅地	m ²	1,987	184	
		田畑	m ²	41,305	503	
		山林・原野	m ²	760	30	
補償費	式	1	998			
③間接経費		式	1	4,351	地質調査、測量、設計にかかる費用等	
事業費合計					28,412	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道42号	冷水拡幅	4	1.1km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	1.1	200	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	1,450	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			1,650	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道42号	有田海南道路	2	9.4km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	9.4	1,600	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	5,950	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			7,550	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。



No. 5-2-2
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
平成29年度第5回

一般国道42号
しみず
冷水拡幅
【再評価】

平成29年11月
近畿地方整備局

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	国道42号 冷水拡幅
事業主体	近畿地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

前提条件	指標	指標数値の根拠
事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 便益が費用を上回っている	指標：費用便益比(B/C) = 1.1 (経済的純現在価値(B-C) = 5億円、経済的内部収益率(EIRR) = 4.4%) 採事業：費用便益比(B/C) = 3.4 (経済的純現在価値(B-C) = 49億円、経済的内部収益率(EIRR) = 15.5%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標数値の根拠
1. 活カ 円滑なモビリ ティの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の年間渋滞損失時間(人・時間)及び削減率 <input type="checkbox"/> 現道等における遅延時旅行速度が200m/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される <input type="checkbox"/> 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上での踏切道の除却もしくは交通改善が期待される <input type="checkbox"/> 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する <input type="checkbox"/> 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる <input checked="" type="checkbox"/> 現道等における、総重量25tの車両もしくはISD規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	区間a (費用便益分析対象区間) について 渋滞損失時間(現況) : 347万人・時間/年 渋滞損失削減時間 : 20万人・時間/年 (3196万人・時間/年 = 3175万人・時間/年) 並行区間等) について : (主) 海南金屋線(東)奥加茂駅(停車)線 並行区間等の渋滞損失削減率 : 21万人・時間/年 並行区間等の渋滞損失削減率 : 3割削減
物流効率化の支 援	<input type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる <input checked="" type="checkbox"/> 現道等における、総重量25tの車両もしくはISD規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	有田市～関西国際空港(所要時間56分～58分) 海南市～和歌山下津港(所要時間63分～61分) みかん(118年収穫量 有田川町 全国2位) 国道42号(塩津第一トンネル、塩津第二トンネル)

1. 活力	都市の再生	
	<p><input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である</p> <p><input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する</p> <p><input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり</p> <p><input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である</p> <p><input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km²以下である市街地内での事業である</p> <p><input type="checkbox"/> 010区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する</p> <p><input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる</p> <p><input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A路線)の位置づけあり</p> <p><input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり</p> <p><input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する(A路線としての位置づけがある場合)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する</p> <p><input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する</p> <p><input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する</p> <p><input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する</p> <p><input type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される</p> <p><input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である</p> <p><input type="checkbox"/> 新規整備の公共施設施設へ直結する道路である</p> <p><input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である</p> <p><input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる</p> <p><input type="checkbox"/> ハリアフリー新法に基づく特定道路が新たにハリアフリー化される</p> <p><input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり</p> <p><input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)等の幹線道路において新たに無電柱化を達成する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる</p>	<p>有田市～和歌山市(所要時間：57分～56分)</p> <p>有田市～和歌山市</p> <p>有田市～和歌山県立医科大学付属病院(所要時間：43分～41分)</p>
	<p>国土・地域ネットワークの構築</p>	
	<p>個性ある地域の形成</p>	
	<p>歩行者・自転車のための生活空間の形成</p>	
	<p>無電柱化による美しい町並みの形成</p>	
	<p>安全で安心できるくらしの確保</p>	
2. 暮らし		

3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/徳台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童（園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合）において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する <input type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり <input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大規模な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する <input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A路線としての位置づけがある場合） <input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架設の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される <input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通確保区間を解消する <input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する <input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する <input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	海南市下津町（事前のルート：国道42号） 国道42号（第1次緊急輸送道路） 国道42号（有田市野～有田市赤水）
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：530.91t-CO2/年
	生活環境の改善・保全	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率 <input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率 <input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超えている区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある <input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	（推計結果） 評価対象区間（現道/並行区間等）：（主）海南金屋線（県）奥加茂線停車場線 排出削減量：1.95t/年、排出削減率0.6割削減 （推計結果） 評価対象区間（現道/並行区間等）：（主）海南金屋線（県）奥加茂線停車場線 排出削減量：0.12t/年、排出削減率：0.6割削減
5. その他	他のソフトと関係	<input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている <input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり <input checked="" type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている <input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される	和歌山県長期総合計画、第4次有田市長期総合計画（後期基本計画）、第1次海南市総合計画（後期基本計画）に位置づけ。

(再評価)

様式-2

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道42号	冷水拡幅	L=1.1km	二次改築	現拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
20,100	4車線	近畿地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成29年度		
単純合計	57億円	15億円	72億円
うち残事業分	17億円	15億円	32億円
基準年における 現在価値 (C)	60億円	5.4億円	65億円
うち残事業分	16億円	5.4億円	21億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成29年度			
供用年	平成35年度			
単年便益 (初年便益)	4.0億円	0.21億円	0.06億円	4.3億円
基準年における 現在価値 (B)	66億円	3.5億円	1.0億円	70億円
うち残事業分	66億円	3.5億円	1.0億円	70億円

注) 「供用年」は、便益算定上の仮定の供用年である。

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.1
経済的純現在価値（事業全体）	5億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.4%
費用便益比（残事業）	3.4
経済的純現在価値（残事業）	49億円
経済的内部収益率（残事業）	15.5%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	20,100台/日	±10%	0.8~1.4
事業費	17億円	±10%	1.1~1.1
事業期間	5年	±20%	1.0~1.1

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	20,100台/日	±10%	2.6~4.2
事業費	17億円	±10%	3.1~3.6
事業期間	5年	±20%	3.3~3.5

交通状況の変化

様式－3①

事業名：冷水拡幅（事業全体）

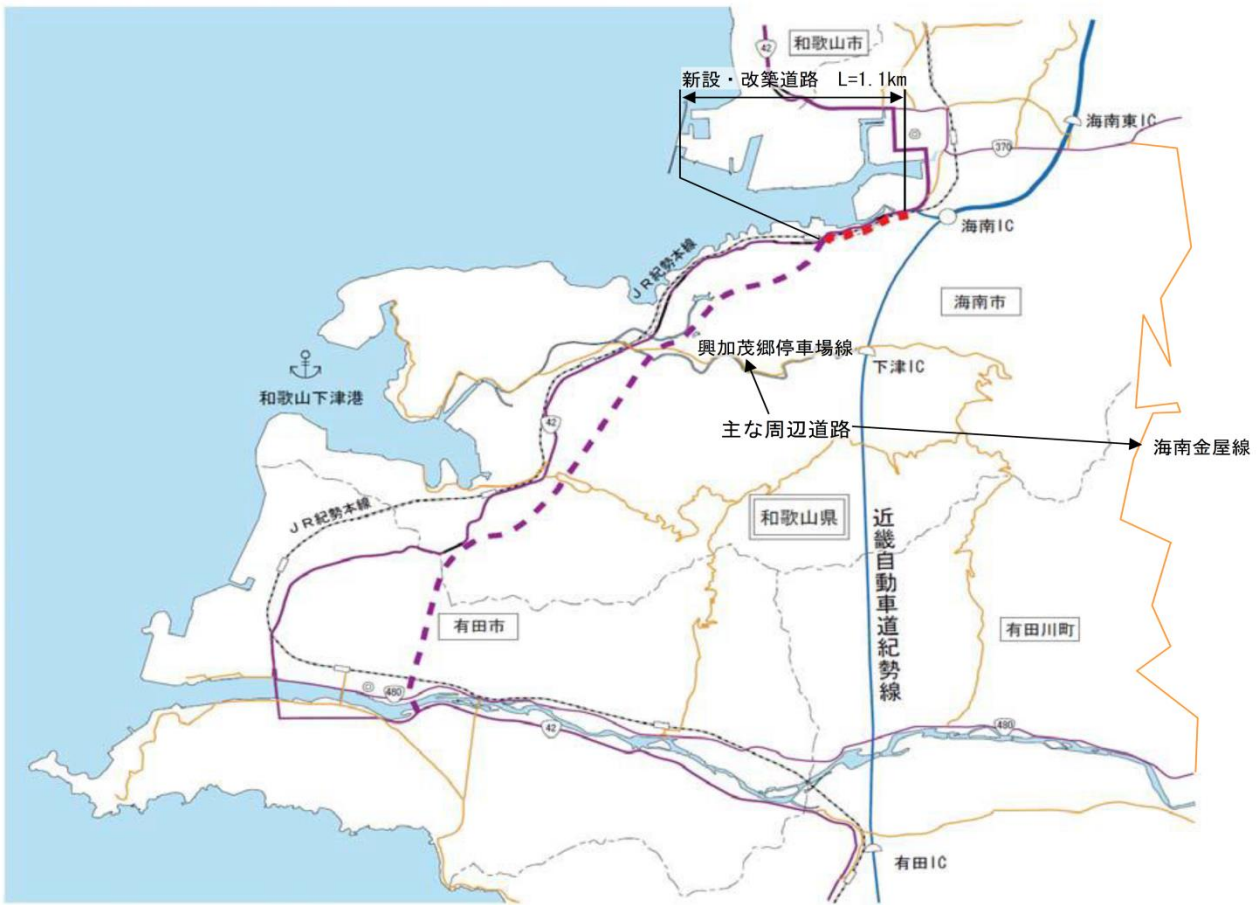
（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (1.1km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	20,000	20,100	
	走行時間 ^{※2}	[分]	3	2	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	10.61	6.52	
②主な周辺道路 ^{※4}	(主)海南 金屋線 (12.1km)	交通量	[台/日]	7,700	7,600
		走行時間	[分]	26	25
		走行時間費用	[億円/年]	33.98	33.57
	(県)興加 茂郷停車場 線 (5.2km)	交通量	[台/日]	1,900	1,900
		走行時間	[分]	12	12
		走行時間費用	[億円/年]	3.70	3.70
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
	交通量	[台/日]	0	0	
	走行時間	[分]	0	0	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00	
③その他道路合計 (3,274.0km)	走行時間費用	[億円/年]	3,069.06	3,069.53	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：3,292.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	3,117.34	3,113.32	4.02

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式-3①

事業名：冷水拡幅（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (1.1km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	20,000	20,100	
	走行時間 ^{※2}	[分]	3	2	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	10.61	6.52	
②主な周辺道路 ^{※4}	(主)海南 金屋線 (12.1km)	交通量	[台/日]	7,700	7,600
		走行時間	[分]	26	25
		走行時間費用	[億円/年]	33.98	33.57
	(県)興加 茂郷停車場 線 (5.2km)	交通量	[台/日]	1,900	1,900
		走行時間	[分]	12	12
		走行時間費用	[億円/年]	3.70	3.70
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
	交通量	[台/日]	0	0	
	走行時間	[分]	0	0	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00	
③その他道路合計 (3,274.0km)	走行時間費用	[億円/年]	3,069.06	3,069.53	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：3,292.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	3,117.34	3,113.32	4.02

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

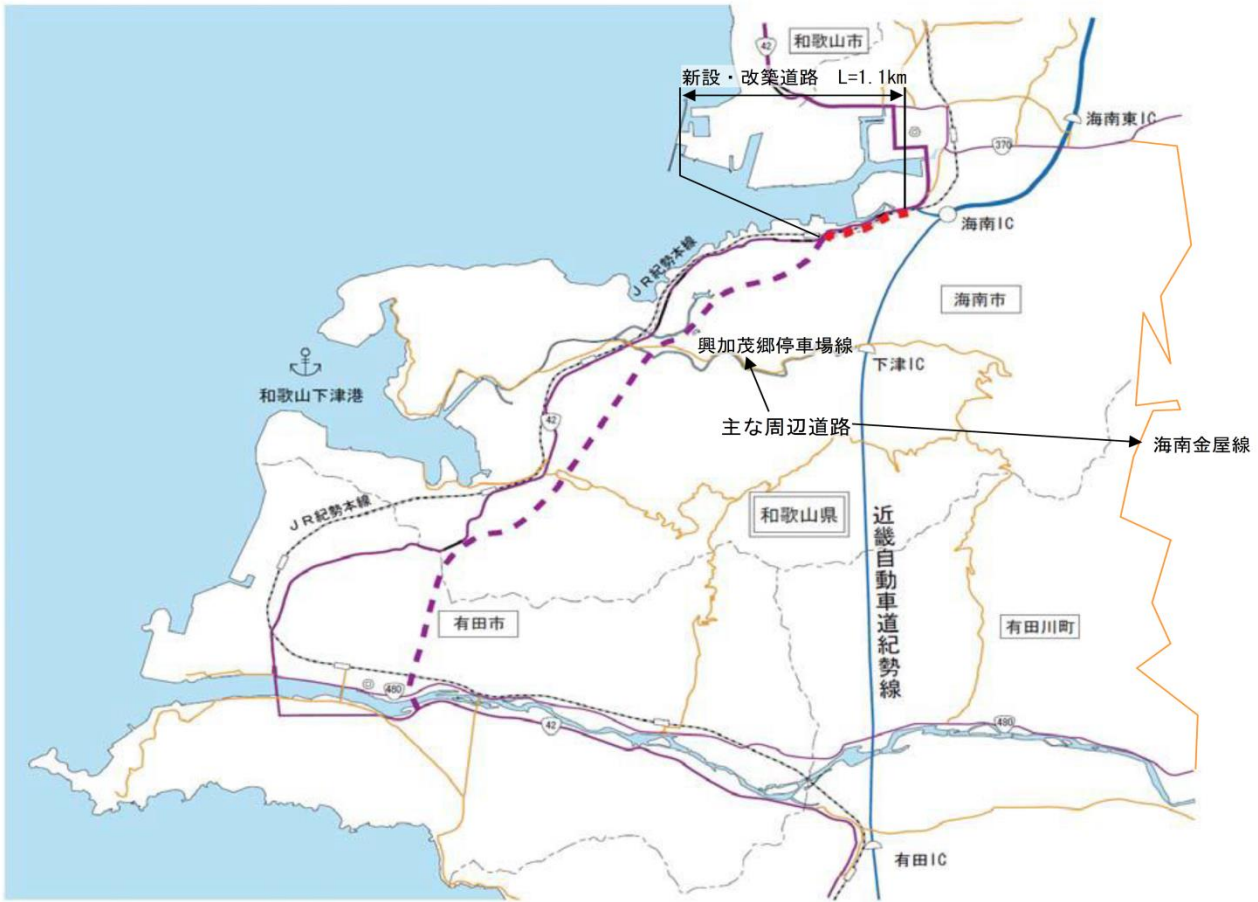
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：冷水拡幅

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成29年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサスベース)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ 考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由 小規模事業である	<input type="checkbox"/>
	山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
その他() 簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。	
	その他()	<input type="checkbox"/>

(3)

		項目	チェック欄	
便 益 の 算 定	休日交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
	災害等による 通行止めの 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
			冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
	交通流推計の 時点以外の 便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他 ()	<input type="checkbox"/>	
	車種別時間 価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
	車種別走行 経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
	交通事故減少 便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>	
中央分離帯の有無を考慮しない		<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走 行経費減少・交通 事故減少以外の便 益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

(4)

		項目	チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他()	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載		
		既存の路線の実績を参考に設定		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない		<input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する		<input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)				
その他				
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

費用の現在価値算定表(事業全体)

維持管理費の単価単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 一般国道42号 冷水拡幅

単価(億円)	延長(km)	単価(億円)
0.30	1.1	0.33

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単価	現在	単価	現在
-16年目	H 19	1.4802	105.0	4.06	5.89		
-15年目	H 20	1.4233	104.4	0.69	0.97		
-14年目	H 21	1.3686	103.0	0.12	0.16		
-13年目	H 22	1.3159	101.3	1.52	2.03		
-12年目	H 23	1.2653	99.8	1.27	1.65		
-11年目	H 24	1.2167	99.0	1.02	1.29		
-10年目	H 25	1.1699	99.0	2.67	3.24		
-9年目	H 26	1.1249	101.5	1.50	1.71		
-8年目	H 27	1.0816	102.9	3.19	3.45		
-7年目	H 28	1.0400	102.9	9.10	9.46		
-6年目	H 29	1.0000	102.9	14.81	14.81		
-5年目	H 30	0.9615	102.9	6.11	5.88		
-4年目	H 31	0.9246	102.9	4.19	3.88		
-3年目	H 32	0.8890	102.9	2.73	2.43		
-2年目	H 33	0.8548	102.9	2.59	2.22		
-1年目	H 34	0.8219	102.9	1.39	1.14		
供用開始年次	H 35	0.7903	102.9			0.31	0.24
1年目	H 36	0.7599	102.9			0.31	0.23
2年目	H 37	0.7307	102.9			0.31	0.22
3年目	H 38	0.7026	102.9			0.31	0.21
4年目	H 39	0.6756	102.9			0.31	0.21
5年目	H 40	0.6496	102.9			0.31	0.20
6年目	H 41	0.6246	102.9			0.31	0.19
7年目	H 42	0.6006	102.9			0.31	0.18
8年目	H 43	0.5775	102.9			0.31	0.18
9年目	H 44	0.5553	102.9			0.31	0.17
10年目	H 45	0.5339	102.9			0.31	0.16
11年目	H 46	0.5134	102.9			0.31	0.16
12年目	H 47	0.4936	102.9			0.31	0.15
13年目	H 48	0.4746	102.9			0.31	0.15
14年目	H 49	0.4564	102.9			0.31	0.14
15年目	H 50	0.4388	102.9			0.31	0.13
16年目	H 51	0.4220	102.9			0.31	0.13
17年目	H 52	0.4057	102.9			0.31	0.12
18年目	H 53	0.3901	102.9			0.31	0.12
19年目	H 54	0.3751	102.9			0.31	0.11
20年目	H 55	0.3607	102.9			0.31	0.11
21年目	H 56	0.3468	102.9			0.31	0.11
22年目	H 57	0.3335	102.9			0.31	0.10
23年目	H 58	0.3207	102.9			0.31	0.10
24年目	H 59	0.3083	102.9			0.31	0.09
25年目	H 60	0.2965	102.9			0.31	0.09
26年目	H 61	0.2851	102.9			0.31	0.09
27年目	H 62	0.2741	102.9			0.31	0.08
28年目	H 63	0.2636	102.9			0.31	0.08
29年目	H 64	0.2534	102.9			0.31	0.08
30年目	H 65	0.2437	102.9			0.31	0.07
31年目	H 66	0.2343	102.9			0.31	0.07
32年目	H 67	0.2253	102.9			0.31	0.07
33年目	H 68	0.2166	102.9			0.31	0.07
34年目	H 69	0.2083	102.9			0.31	0.06
35年目	H 70	0.2003	102.9			0.31	0.06
36年目	H 71	0.1926	102.9			0.31	0.06
37年目	H 72	0.1852	102.9			0.31	0.06
38年目	H 73	0.1780	102.9			0.31	0.05
39年目	H 74	0.1712	102.9			0.31	0.05
40年目	H 75	0.1646	102.9			0.31	0.05

41年目	H	76	0.1583	102.9			0.31	0.05
42年目	H	77	0.1522	102.9			0.31	0.05
43年目	H	78	0.1463	102.9			0.31	0.04
44年目	H	79	0.1407	102.9			0.31	0.04
45年目	H	80	0.1353	102.9			0.31	0.04
46年目	H	81	0.1301	102.9			0.31	0.04
47年目	H	82	0.1251	102.9			0.31	0.04
48年目	H	83	0.1203	102.9			0.31	0.04
49年目	H	84	0.1157	102.9	-2.57	-0.30	0.31	0.04
合計					54.39	59.91	15.28	5.38
単純事業費計					56.96		15.28	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道42号 冷水拡幅

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
				0.30		1.1	0.33
-5年目	H 30	0.9615	102.9	6.11	5.88		
-4年目	H 31	0.9246	102.9	4.19	3.88		
-3年目	H 32	0.8890	102.9	2.73	2.43		
-2年目	H 33	0.8548	102.9	2.59	2.22		
-1年目	H 34	0.8219	102.9	1.39	1.14		
供用開始年次	H 35	0.7903	102.9			0.31	0.24
1年目	H 36	0.7599	102.9			0.31	0.23
2年目	H 37	0.7307	102.9			0.31	0.22
3年目	H 38	0.7026	102.9			0.31	0.21
4年目	H 39	0.6756	102.9			0.31	0.21
5年目	H 40	0.6496	102.9			0.31	0.20
6年目	H 41	0.6246	102.9			0.31	0.19
7年目	H 42	0.6006	102.9			0.31	0.18
8年目	H 43	0.5775	102.9			0.31	0.18
9年目	H 44	0.5553	102.9			0.31	0.17
10年目	H 45	0.5339	102.9			0.31	0.16
11年目	H 46	0.5134	102.9			0.31	0.16
12年目	H 47	0.4936	102.9			0.31	0.15
13年目	H 48	0.4746	102.9			0.31	0.15
14年目	H 49	0.4564	102.9			0.31	0.14
15年目	H 50	0.4388	102.9			0.31	0.13
16年目	H 51	0.4220	102.9			0.31	0.13
17年目	H 52	0.4057	102.9			0.31	0.12
18年目	H 53	0.3901	102.9			0.31	0.12
19年目	H 54	0.3751	102.9			0.31	0.11
20年目	H 55	0.3607	102.9			0.31	0.11
21年目	H 56	0.3468	102.9			0.31	0.11
22年目	H 57	0.3335	102.9			0.31	0.10
23年目	H 58	0.3207	102.9			0.31	0.10
24年目	H 59	0.3083	102.9			0.31	0.09
25年目	H 60	0.2965	102.9			0.31	0.09
26年目	H 61	0.2851	102.9			0.31	0.09
27年目	H 62	0.2741	102.9			0.31	0.08
28年目	H 63	0.2636	102.9			0.31	0.08
29年目	H 64	0.2534	102.9			0.31	0.08
30年目	H 65	0.2437	102.9			0.31	0.07
31年目	H 66	0.2343	102.9			0.31	0.07
32年目	H 67	0.2253	102.9			0.31	0.07
33年目	H 68	0.2166	102.9			0.31	0.07
34年目	H 69	0.2083	102.9			0.31	0.06
35年目	H 70	0.2003	102.9			0.31	0.06
36年目	H 71	0.1926	102.9			0.31	0.06
37年目	H 72	0.1852	102.9			0.31	0.06
38年目	H 73	0.1780	102.9			0.31	0.05
39年目	H 74	0.1712	102.9			0.31	0.05
40年目	H 75	0.1646	102.9			0.31	0.05
41年目	H 76	0.1583	102.9			0.31	0.05
42年目	H 77	0.1522	102.9			0.31	0.05
43年目	H 78	0.1463	102.9			0.31	0.04
44年目	H 79	0.1407	102.9			0.31	0.04
45年目	H 80	0.1353	102.9			0.31	0.04
46年目	H 81	0.1301	102.9			0.31	0.04
47年目	H 82	0.1251	102.9			0.31	0.04
48年目	H 83	0.1203	102.9			0.31	0.04
49年目	H 84	0.1157	102.9	0.00	0.00	0.31	0.04
合計				17.02	15.55	15.28	5.38
単純事業費計				17.02		15.28	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表（事業全体）

箇所名： 一般国道42号 冷水橋幅

年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率			割引率 (A)	GDP ゾナ	走行時間便益 (億円)				走行経費便益 (億円)				事故減少便益 (億円)		合計 現在価値 割引率4%			
	乗用車類 小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)		③	現在価値 ③×(A)	
年次	H 29	0.9816	0.9822	1.0121	0.9933	102.9	2.58	0.72	0.72	4.03	3.18	0.11	0.02	0.07	0.21	0.16	0.06	0.06	4.30
供用開始年次	H 35	0.9815	0.9815	1.0119	0.9933	102.9	2.58	0.71	0.73	4.02	3.06	0.11	0.02	0.08	0.21	0.16	0.06	0.06	4.30
1年目	H 36	0.9815	0.9815	1.0118	0.9933	102.9	2.58	0.71	0.74	4.02	2.94	0.11	0.02	0.08	0.21	0.15	0.06	0.05	4.30
2年目	H 37	0.9815	0.9815	1.0117	0.9933	102.9	2.57	0.70	0.75	4.02	2.83	0.11	0.02	0.08	0.21	0.15	0.06	0.04	4.30
3年目	H 38	0.9814	0.9814	1.0116	0.9933	102.9	2.56	0.69	0.76	4.02	2.72	0.11	0.02	0.08	0.21	0.14	0.06	0.04	4.30
4年目	H 39	0.9814	0.9814	1.0115	0.9933	102.9	2.56	0.69	0.77	4.02	2.61	0.11	0.02	0.08	0.21	0.14	0.06	0.04	4.29
5年目	H 40	0.9814	0.9814	1.0114	0.9933	102.9	2.56	0.69	0.78	4.02	2.51	0.11	0.02	0.08	0.21	0.13	0.06	0.04	4.29
6年目	H 41	0.9814	0.9814	1.0113	0.9933	102.9	2.55	0.68	0.79	4.02	2.41	0.11	0.02	0.08	0.21	0.13	0.06	0.04	4.29
7年目	H 42	0.9814	0.9814	1.0021	0.9930	102.9	2.55	0.68	0.79	4.02	2.30	0.11	0.02	0.08	0.21	0.12	0.06	0.04	4.27
8年目	H 43	0.9814	0.9814	1.0021	0.9930	102.9	2.53	0.68	0.79	3.99	2.20	0.11	0.02	0.08	0.21	0.12	0.06	0.03	4.24
9年目	H 44	0.9814	0.9814	1.0021	0.9929	102.9	2.50	0.67	0.79	3.96	2.10	0.11	0.02	0.08	0.21	0.11	0.06	0.03	4.21
10年目	H 45	0.9814	0.9814	1.0021	0.9928	102.9	2.48	0.67	0.79	3.94	2.01	0.11	0.02	0.08	0.21	0.11	0.06	0.03	4.18
11年目	H 46	0.9814	0.9814	1.0021	0.9928	102.9	2.46	0.66	0.79	3.91	1.92	0.11	0.02	0.08	0.21	0.10	0.06	0.03	4.15
12年目	H 47	0.9814	0.9814	1.0021	0.9928	102.9	2.43	0.66	0.79	3.88	1.83	0.11	0.02	0.08	0.21	0.10	0.06	0.03	4.12
13年目	H 48	0.9814	0.9814	1.0021	0.9927	102.9	2.41	0.65	0.80	3.86	1.75	0.10	0.02	0.08	0.21	0.09	0.06	0.03	4.09
14年目	H 49	0.9814	0.9814	1.0021	0.9927	102.9	2.38	0.65	0.80	3.83	1.67	0.10	0.02	0.08	0.20	0.09	0.06	0.03	4.07
15年目	H 50	0.9814	0.9814	1.0021	0.9926	102.9	2.36	0.64	0.80	3.80	1.59	0.10	0.02	0.08	0.20	0.09	0.06	0.03	4.04
16年目	H 51	0.9814	0.9814	1.0021	0.9926	102.9	2.34	0.64	0.80	3.78	1.52	0.10	0.02	0.08	0.20	0.08	0.06	0.03	4.01
17年目	H 52	0.9814	0.9814	1.0021	0.9926	102.9	2.31	0.63	0.80	3.75	1.45	0.10	0.02	0.08	0.20	0.08	0.06	0.03	4.01
18年目	H 53	0.9814	0.9814	1.0021	0.9925	102.9	2.29	0.63	0.80	3.72	1.45	0.10	0.02	0.08	0.20	0.08	0.06	0.02	3.98
19年目	H 54	0.9814	0.9814	1.0021	0.9925	102.9	2.26	0.63	0.81	3.69	1.39	0.10	0.02	0.08	0.20	0.07	0.06	0.02	3.95
20年目	H 55	0.9814	0.9814	1.0020	0.9923	102.9	2.24	0.62	0.81	3.67	1.32	0.10	0.02	0.08	0.20	0.07	0.06	0.02	3.92
21年目	H 56	0.9814	0.9814	1.0020	0.9923	102.9	2.22	0.62	0.81	3.64	1.26	0.10	0.02	0.08	0.20	0.07	0.06	0.02	3.90
22年目	H 57	0.9814	0.9814	1.0020	0.9922	102.9	2.19	0.61	0.81	3.61	1.21	0.09	0.02	0.08	0.20	0.07	0.06	0.02	3.87
23年目	H 58	0.9814	0.9814	1.0020	0.9922	102.9	2.17	0.61	0.81	3.59	1.15	0.09	0.02	0.08	0.20	0.06	0.06	0.02	3.84
24年目	H 59	0.9814	0.9814	1.0020	0.9921	102.9	2.14	0.60	0.81	3.56	1.10	0.09	0.02	0.08	0.19	0.06	0.06	0.02	3.81
25年目	H 60	0.9814	0.9814	1.0020	0.9920	102.9	2.12	0.60	0.82	3.53	1.05	0.09	0.02	0.08	0.19	0.06	0.06	0.02	3.78
26年目	H 61	0.9814	0.9814	1.0020	0.9920	102.9	2.10	0.59	0.82	3.51	1.00	0.09	0.02	0.08	0.19	0.06	0.06	0.02	3.75
27年目	H 62	0.9814	0.9814	1.0020	0.9919	102.9	2.07	0.59	0.82	3.48	0.95	0.09	0.02	0.08	0.19	0.05	0.05	0.02	3.72
28年目	H 63	0.9814	0.9814	1.0020	0.9919	102.9	2.05	0.58	0.82	3.45	0.91	0.09	0.02	0.08	0.19	0.05	0.05	0.01	3.70
29年目	H 64	0.9814	0.9814	1.0020	0.9918	102.9	2.02	0.58	0.82	3.42	0.87	0.09	0.02	0.08	0.19	0.05	0.05	0.01	3.67
30年目	H 65	0.9814	0.9814	1.0020	0.9917	102.9	2.00	0.57	0.82	3.40	0.83	0.09	0.02	0.08	0.19	0.05	0.05	0.01	3.64
31年目	H 66	0.9814	0.9814	1.0020	0.9916	102.9	1.98	0.57	0.83	3.37	0.79	0.09	0.02	0.08	0.19	0.04	0.05	0.01	3.61
32年目	H 67	0.9814	0.9814	1.0020	0.9916	102.9	1.95	0.56	0.83	3.34	0.75	0.08	0.02	0.08	0.19	0.04	0.05	0.01	3.58
33年目	H 68	0.9814	0.9814	1.0020	0.9915	102.9	1.93	0.56	0.83	3.32	0.72	0.08	0.02	0.08	0.19	0.04	0.05	0.01	3.55
34年目	H 69	0.9814	0.9814	1.0020	0.9914	102.9	1.90	0.55	0.83	3.29	0.69	0.08	0.02	0.08	0.18	0.04	0.05	0.01	3.52
35年目	H 70	0.9814	0.9814	1.0020	0.9914	102.9	1.88	0.55	0.83	3.26	0.65	0.08	0.02	0.09	0.18	0.04	0.05	0.01	3.50
36年目	H 71	0.9814	0.9814	1.0020	0.9913	102.9	1.86	0.54	0.83	3.24	0.62	0.08	0.02	0.09	0.18	0.04	0.05	0.01	3.47
37年目	H 72	0.9814	0.9814	1.0020	0.9912	102.9	1.83	0.54	0.84	3.21	0.59	0.08	0.02	0.09	0.18	0.03	0.05	0.01	3.44
38年目	H 73	0.9814	0.9814	1.0020	0.9911	102.9	1.81	0.54	0.84	3.18	0.57	0.08	0.02	0.09	0.18	0.03	0.05	0.01	3.41
39年目	H 74	0.9814	0.9814	1.0020	0.9911	102.9	1.78	0.53	0.84	3.15	0.54	0.08	0.02	0.09	0.18	0.03	0.05	0.01	3.38
40年目	H 75	0.9814	0.9814	1.0020	0.9910	102.9	1.76	0.53	0.84	3.13	0.51	0.08	0.02	0.09	0.18	0.03	0.05	0.01	3.36
41年目	H 76	0.9814	0.9814	1.0020	0.9909	102.9	1.74	0.52	0.84	3.10	0.49	0.08	0.02	0.09	0.18	0.03	0.05	0.01	3.33
42年目	H 77	0.9814	0.9814	1.0020	0.9908	102.9	1.71	0.52	0.84	3.07	0.47	0.07	0.02	0.09	0.18	0.03	0.05	0.01	3.30
43年目	H 78	0.9814	0.9814	1.0020	0.9907	102.9	1.69	0.51	0.85	3.05	0.45	0.07	0.02	0.09	0.18	0.03	0.05	0.01	3.27
44年目	H 79	0.9814	0.9814	1.0019	0.9906	102.9	1.67	0.51	0.85	3.02	0.42	0.07	0.02	0.09	0.17	0.02	0.05	0.01	3.24
45年目	H 80	0.9814	0.9814	1.0019	0.9905	102.9	1.64	0.50	0.85	2.99	0.40	0.07	0.02	0.09	0.17	0.02	0.05	0.01	3.21
46年目	H 81	0.9814	0.9814	1.0019	0.9904	102.9	1.62	0.50	0.85	2.97	0.39	0.07	0.02	0.09	0.17	0.02	0.05	0.01	3.18
47年目	H 82	0.9814	0.9814	1.0019	0.9903	102.9	1.59	0.49	0.85	2.94	0.37	0.07	0.02	0.09	0.17	0.02	0.05	0.01	3.16
48年目	H 83	0.9814	0.9814	1.0019	0.9903	102.9	1.57	0.49	0.85	2.91	0.35	0.07	0.02	0.09	0.17	0.02	0.05	0.01	3.13
49年目	H 84	0.9814	0.9814	1.0019	0.9902	102.9	1.55	0.48	0.86	2.89	0.33	0.07	0.02	0.09	0.17	0.02	0.05	0.01	3.10
合計		0.9845	0.9845	1.0019	0.9902	106.07	29.97	40.54	176.58	65.74	4.59	0.92	4.15	9.67	3.53	2.78	1.04	189.02	70.32

便益の現在価値算定表（残事業）

年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率			割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間便益				走行経費便益				事故減少便益		合計 現在価値 割引率4%			
	乗用車類 小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)		③	現在価値 ③×(A)	
年度	H 29	0.9816	0.9822	1.0121	0.9933	102.9	2.58	0.72	0.72	4.03	3.18	0.11	0.02	0.07	0.21	0.16	0.06	0.05	4.30
1年目	H 36	0.9815	0.9822	1.0119	0.9933	102.9	2.58	0.71	0.73	4.02	3.06	0.11	0.02	0.08	0.21	0.16	0.06	0.05	4.30
2年目	H 37	0.9815	0.9822	1.0118	0.9933	102.9	2.58	0.71	0.74	4.02	2.94	0.11	0.02	0.08	0.21	0.15	0.06	0.05	4.30
3年目	H 38	0.9815	0.9822	1.0117	0.9933	102.9	2.57	0.70	0.75	4.02	2.83	0.11	0.02	0.08	0.21	0.15	0.06	0.04	4.30
4年目	H 39	0.9814	0.9825	1.0115	0.9933	102.9	2.57	0.70	0.76	4.02	2.72	0.11	0.02	0.08	0.21	0.14	0.06	0.04	4.30
5年目	H 40	0.9814	0.9825	1.0114	0.9933	102.9	2.56	0.69	0.77	4.02	2.61	0.11	0.02	0.08	0.21	0.14	0.06	0.04	4.29
6年目	H 41	0.9814	0.9825	1.0113	0.9933	102.9	2.56	0.69	0.78	4.02	2.51	0.11	0.02	0.08	0.21	0.13	0.06	0.04	4.29
7年目	H 42	0.9806	0.9830	1.0021	0.9930	102.9	2.55	0.68	0.79	4.02	2.41	0.11	0.02	0.08	0.21	0.13	0.06	0.04	4.29
8年目	H 43	0.9805	0.9830	1.0021	0.9930	102.9	2.53	0.68	0.79	3.99	2.30	0.11	0.02	0.08	0.21	0.12	0.06	0.04	4.27
9年目	H 44	0.9804	0.9829	1.0021	0.9928	102.9	2.50	0.67	0.79	3.96	2.20	0.11	0.02	0.08	0.21	0.12	0.06	0.03	4.24
10年目	H 45	0.9803	0.9828	1.0021	0.9928	102.9	2.48	0.67	0.79	3.94	2.10	0.11	0.02	0.08	0.21	0.11	0.06	0.03	4.21
11年目	H 46	0.9802	0.9828	1.0021	0.9928	102.9	2.46	0.66	0.79	3.91	2.01	0.11	0.02	0.08	0.21	0.11	0.06	0.03	4.18
12年目	H 47	0.9801	0.9828	1.0021	0.9928	102.9	2.43	0.66	0.79	3.88	1.92	0.11	0.02	0.08	0.21	0.10	0.06	0.03	4.15
13年目	H 48	0.9800	0.9828	1.0021	0.9927	102.9	2.41	0.65	0.80	3.86	1.83	0.10	0.02	0.08	0.21	0.10	0.06	0.03	4.12
14年目	H 49	0.9800	0.9827	1.0021	0.9927	102.9	2.38	0.65	0.80	3.83	1.75	0.10	0.02	0.08	0.20	0.09	0.06	0.03	4.09
15年目	H 50	0.9800	0.9826	1.0021	0.9926	102.9	2.36	0.64	0.80	3.80	1.67	0.10	0.02	0.08	0.20	0.09	0.06	0.03	4.07
16年目	H 51	0.9800	0.9826	1.0021	0.9926	102.9	2.34	0.64	0.80	3.78	1.59	0.10	0.02	0.08	0.20	0.09	0.06	0.03	4.04
17年目	H 52	0.9800	0.9826	1.0021	0.9926	102.9	2.31	0.63	0.80	3.75	1.52	0.10	0.02	0.08	0.20	0.08	0.06	0.02	4.01
18年目	H 53	0.9800	0.9825	1.0021	0.9925	102.9	2.29	0.63	0.80	3.72	1.45	0.10	0.02	0.08	0.20	0.08	0.06	0.02	3.98
19年目	H 54	0.9800	0.9825	1.0021	0.9925	102.9	2.26	0.63	0.81	3.69	1.39	0.10	0.02	0.08	0.20	0.07	0.06	0.02	3.95
20年目	H 55	0.9800	0.9825	1.0020	0.9925	102.9	2.24	0.62	0.81	3.67	1.32	0.10	0.02	0.08	0.20	0.07	0.06	0.02	3.92
21年目	H 56	0.9800	0.9824	1.0020	0.9925	102.9	2.22	0.62	0.81	3.64	1.26	0.10	0.02	0.08	0.20	0.07	0.06	0.02	3.90
22年目	H 57	0.9800	0.9822	1.0020	0.9927	102.9	2.19	0.61	0.81	3.61	1.21	0.09	0.02	0.08	0.20	0.07	0.06	0.02	3.87
23年目	H 58	0.9800	0.9822	1.0020	0.9927	102.9	2.17	0.61	0.81	3.59	1.15	0.09	0.02	0.08	0.20	0.06	0.06	0.02	3.84
24年目	H 59	0.9800	0.9821	1.0020	0.9927	102.9	2.14	0.60	0.81	3.56	1.10	0.09	0.02	0.08	0.19	0.06	0.06	0.02	3.81
25年目	H 60	0.9800	0.9820	1.0020	0.9929	102.9	2.12	0.60	0.82	3.53	1.05	0.09	0.02	0.08	0.19	0.06	0.06	0.02	3.78
26年目	H 61	0.9800	0.9820	1.0020	0.9929	102.9	2.10	0.59	0.82	3.51	1.00	0.09	0.02	0.08	0.19	0.06	0.06	0.02	3.75
27年目	H 62	0.9800	0.9820	1.0020	0.9929	102.9	2.07	0.59	0.82	3.48	0.95	0.09	0.02	0.08	0.19	0.05	0.05	0.02	3.72
28年目	H 63	0.9800	0.9820	1.0020	0.9929	102.9	2.05	0.58	0.82	3.45	0.91	0.09	0.02	0.08	0.19	0.05	0.05	0.01	3.70
29年目	H 64	0.9800	0.9820	1.0020	0.9928	102.9	2.02	0.58	0.82	3.42	0.87	0.09	0.02	0.08	0.19	0.05	0.05	0.01	3.67
30年目	H 65	0.9800	0.9820	1.0020	0.9928	102.9	2.00	0.57	0.82	3.40	0.83	0.09	0.02	0.08	0.19	0.05	0.05	0.01	3.64
31年目	H 66	0.9800	0.9820	1.0020	0.9928	102.9	1.98	0.57	0.83	3.37	0.79	0.09	0.02	0.08	0.19	0.04	0.05	0.01	3.61
32年目	H 67	0.9800	0.9820	1.0020	0.9928	102.9	1.95	0.56	0.83	3.34	0.75	0.08	0.02	0.08	0.19	0.04	0.05	0.01	3.58
33年目	H 68	0.9800	0.9820	1.0020	0.9928	102.9	1.93	0.56	0.83	3.32	0.72	0.08	0.02	0.08	0.19	0.04	0.05	0.01	3.55
34年目	H 69	0.9800	0.9820	1.0020	0.9928	102.9	1.90	0.55	0.83	3.29	0.69	0.08	0.02	0.08	0.18	0.04	0.05	0.01	3.52
35年目	H 70	0.9800	0.9820	1.0020	0.9928	102.9	1.88	0.55	0.83	3.26	0.65	0.08	0.02	0.09	0.18	0.04	0.05	0.01	3.50
36年目	H 71	0.9800	0.9820	1.0020	0.9928	102.9	1.86	0.54	0.83	3.24	0.62	0.08	0.02	0.09	0.18	0.04	0.05	0.01	3.47
37年目	H 72	0.9800	0.9820	1.0020	0.9928	102.9	1.83	0.54	0.84	3.21	0.59	0.08	0.02	0.09	0.18	0.04	0.05	0.01	3.44
38年目	H 73	0.9800	0.9820	1.0020	0.9928	102.9	1.81	0.54	0.84	3.18	0.57	0.08	0.02	0.09	0.18	0.03	0.05	0.01	3.41
39年目	H 74	0.9800	0.9820	1.0020	0.9928	102.9	1.78	0.53	0.84	3.15	0.54	0.08	0.02	0.09	0.18	0.03	0.05	0.01	3.38
40年目	H 75	0.9800	0.9820	1.0020	0.9928	102.9	1.76	0.53	0.84	3.13	0.51	0.08	0.02	0.09	0.18	0.03	0.05	0.01	3.36
41年目	H 76	0.9800	0.9820	1.0020	0.9928	102.9	1.74	0.52	0.84	3.10	0.49	0.08	0.02	0.09	0.18	0.03	0.05	0.01	3.33
42年目	H 77	0.9800	0.9820	1.0020	0.9928	102.9	1.71	0.52	0.84	3.07	0.47	0.07	0.02	0.09	0.18	0.03	0.05	0.01	3.30
43年目	H 78	0.9800	0.9820	1.0020	0.9928	102.9	1.69	0.51	0.85	3.05	0.45	0.07	0.02	0.09	0.18	0.03	0.05	0.01	3.27
44年目	H 79	0.9800	0.9820	1.0020	0.9928	102.9	1.67	0.51	0.85	3.02	0.42	0.07	0.02	0.09	0.17	0.03	0.05	0.01	3.24
45年目	H 80	0.9800	0.9820	1.0020	0.9928	102.9	1.64	0.50	0.85	2.99	0.40	0.07	0.02	0.09	0.17	0.03	0.05	0.01	3.21
46年目	H 81	0.9800	0.9820	1.0020	0.9928	102.9	1.62	0.50	0.85	2.97	0.39	0.07	0.02	0.09	0.17	0.03	0.05	0.01	3.18
47年目	H 82	0.9800	0.9820	1.0020	0.9928	102.9	1.59	0.49	0.85	2.94	0.37	0.07	0.02	0.09	0.17	0.03	0.05	0.01	3.16
48年目	H 83	0.9800	0.9820	1.0020	0.9928	102.9	1.57	0.49	0.85	2.91	0.35	0.07	0.02	0.09	0.17	0.03	0.05	0.01	3.13
49年目	H 84	0.9800	0.9820	1.0020	0.9928	102.9	1.55	0.48	0.86	2.89	0.33	0.07	0.02	0.09	0.17	0.03	0.05	0.01	3.10
合計		0.9850	0.9824	1.0019	0.9923	106.07	29.97	40.54	176.58	65.74	4.59	0.92	4.15	9.67	3.53	2.78	189.02	70.32	

箇所名： 一般国道42号 冷水橋幅

走行時間便益
(億円)

走行経費便益
(億円)

事故減少便益
(億円)

合計
現在価値
割引率4%

(全事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
国道42号	冷水拡幅	4	1.1km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費			式	1	3,216	
	改良費		式	1	1,645	
		土工	m ³	145,000	509	切土(97,000m ³)、盛土(48,000m ³)
		軟弱地盤改良工	m ³	1,400	11	
		法面工	m ²	1,150	306	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	812	重力式、補強土壁、大型ブロック
		函渠工	m	55	7	
	橋梁費		m	107	1,271	
		100m以上	m	107	1,271	
		100m未満	m			
	トンネル費		m			
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費		箇所			
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費		m ²	32,900	89	
		車道舗装	m ²	27,500	71	
		歩道舗装	m ²	5,400	18	
	付帯施設費		式		211	
交通管理施設工		式				
その他		式	1	211	道路切り回し	
②用地及補償費		式	1	600		
	用地費		m ²	30,383	257	
		宅地	m ²	23,583	215	
		田畑	m ²	495	4	
		山林・原野	m ²	6,305	38	
補償費	式	1	343			
③間接経費		式	1	2,284	地質調査、測量、設計にかかる費用等	
事業費合計					6,100	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道42号	冷水拡幅	4	1.1km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	1.1	200	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	1,450	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			1,650	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

(残事業)

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
国道42号	冷水拡幅	4	1.1km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費			式	1	1,424	
	改良費		式	1	845	
		土工	m ³	97,000	267	切土(72,400m ³)、盛土(24,600m ³)
		軟弱地盤改良工	m ³	400	3	
		法面工	m ²	700	272	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	302	重力式、補強土壁、大型ブロック
		函渠工	m	5	1	
	橋梁費		m	107	490	
		100m以上	m	107	490	
		100m未満	m			
	トンネル費		m			
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費		箇所			
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費		m ²	32,900	89	
		車道舗装	m ²	27,500	71	
		歩道舗装	m ²	5,400	18	
	付帯施設費		式			
交通管理施設工		式				
その他		式				
②用地及補償費		式	1	30		
	用地費		m ²			
		宅地	m ²			
		田畑	m ²			
		山林・原野	m ²			
補償費	式	1	30			
③間接経費		式	1	384	地質調査、測量、設計にかかる費用等	
事業費合計					1,838	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道42号	冷水拡幅	4	1.1km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	1.1	200	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	1,450	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			1,650	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。



No. 5-2-3
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
平成29年度第5回

一般国道42号
ありだかいなん
有田海南道路
【再評価】

平成29年11月
近畿地方整備局

1. 活力		都市の再生
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である <input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する <input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり <input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である <input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km²以下である市街地内での事業である <input type="checkbox"/> 010区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する <input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる <input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A路線)の位置づけあり <input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり <input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する(A路線としての位置づけがある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短时间内で連絡する路線を構成する <input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する <input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する <input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する <input type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される <input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である <input type="checkbox"/> 新規整備の公共施設等へ直結する道路である <input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である <input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される <input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり <input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)等の幹線道路において新たに電柱化を達成する <input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる 	
	<p>国土・地域ネットワークの構築</p>	
	<p>個性ある地域の形成</p>	有田市～和歌山市(所要時間：57分～46分)
	<p>2. 暮らし</p>	有田市～和歌山県立医科大学付属病院(所要時間：43分～31分)
	<p>歩行者・自転車のための生活空間の形成</p>	
	<p>無電柱化による美しい町並みの形成</p>	
	<p>安全で安心して暮らすための確保</p>	

3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/徳台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は児童・園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する <input type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり <input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大規模な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する <input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A路線としての位置づけがある場合） <input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架設の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される <input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通確保区間を解消する <input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する <input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する <input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	国道42号（有田市野～有田市赤水） 国道42号（第1次緊急輸送道路）
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：5626.43t-002/年
	生活環境の改善・保全	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率 <input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率 <input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超えている区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある <input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	（推計結果） 評価対象区間（現道／並行区間等）：国道42号 国道489号 海南吉備線 引尾下津線 沓掛糸我線 排出削減量：38.44t/年、排出削減率：7割削減 （ハイパス事業の場合）ハイパス等についてNOx排出増加量：23.07t/年 （推計結果） 評価対象区間（現道／並行区間等）：国道42号 国道489号 海南吉備線 引尾下津線 沓掛糸我線 排出削減量：2.29t/年、排出削減率：7割削減 （ハイパス事業の場合）ハイパス等についてSPM排出増加量：1.31t/年
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている <input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり <input checked="" type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている <input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される	和歌山県長期総合計画、第4次有田市長期総合計画（後期基本計画）、第1次海南市総合計画（後期基本計画）に位置づけ。

(再評価)

様式-2

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道42号	有田海南道路	L=9.4km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
11,000	2車線	近畿地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成29年度		
単純合計	335億円	70億円	404億円
うち残事業分	264億円	70億円	334億円
基準年における 現在価値 (C)	306億円	22億円	328億円
うち残事業分	231億円	22億円	253億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成29年度			
供用年	平成38年度			
単年便益 (初年便益)	32億円	3.1億円	1.4億円	36億円
基準年における 現在価値 (B)	458億円	45億円	20億円	523億円
うち残事業分	458億円	45億円	20億円	523億円

注) 「供用年」は、便益算定上の仮定の供用年である。

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.6
経済的純現在価値（事業全体）	195億円
経済的内部収益率（事業全体）	6.4%
費用便益比（残事業）	2.1
経済的純現在価値（残事業）	270億円
経済的内部収益率（残事業）	8.4%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	11,000台/日	±10%	1.3~1.9
事業費	264億円	±10%	1.5~1.7
事業期間	8年	±20%	1.5~1.7

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	11,000台/日	±10%	1.7~2.4
事業費	264億円	±10%	1.9~2.3
事業期間	8年	±20%	2.0~2.2

交通状況の変化

様式－3①

事業名：有田海南道路（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (9.4km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	0	11,000	
	走行時間 ^{※2}	[分]	0	19	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	0.00	35.11	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道42号 (11.6km)	交通量	[台/日]	15,600	6,800
		走行時間	[分]	25	20
		走行時間費用	[億円/年]	64.05	21.70
	国道480号 (9.6km)	交通量	[台/日]	5,100	4,700
		走行時間	[分]	17	17
		走行時間費用	[億円/年]	15.55	13.93
	(県)海南 吉備線 (13.3km)	交通量	[台/日]	2,500	600
		走行時間	[分]	61	35
		走行時間費用	[億円/年]	27.65	4.11
	(県)引尾 下津線 (9.0km)	交通量	[台/日]	200	100
		走行時間	[分]	20	20
		走行時間費用	[億円/年]	0.91	0.85
	(県)沓掛 糸我線 (4.3km)	交通量	[台/日]	600	0
		走行時間	[分]	9	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.90	0.00
③その他道路合計 (3,235.2km)	走行時間費用	[億円/年]	3,036.10	3,037.63	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：3,292.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	3,145.16	3,113.32	31.84

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

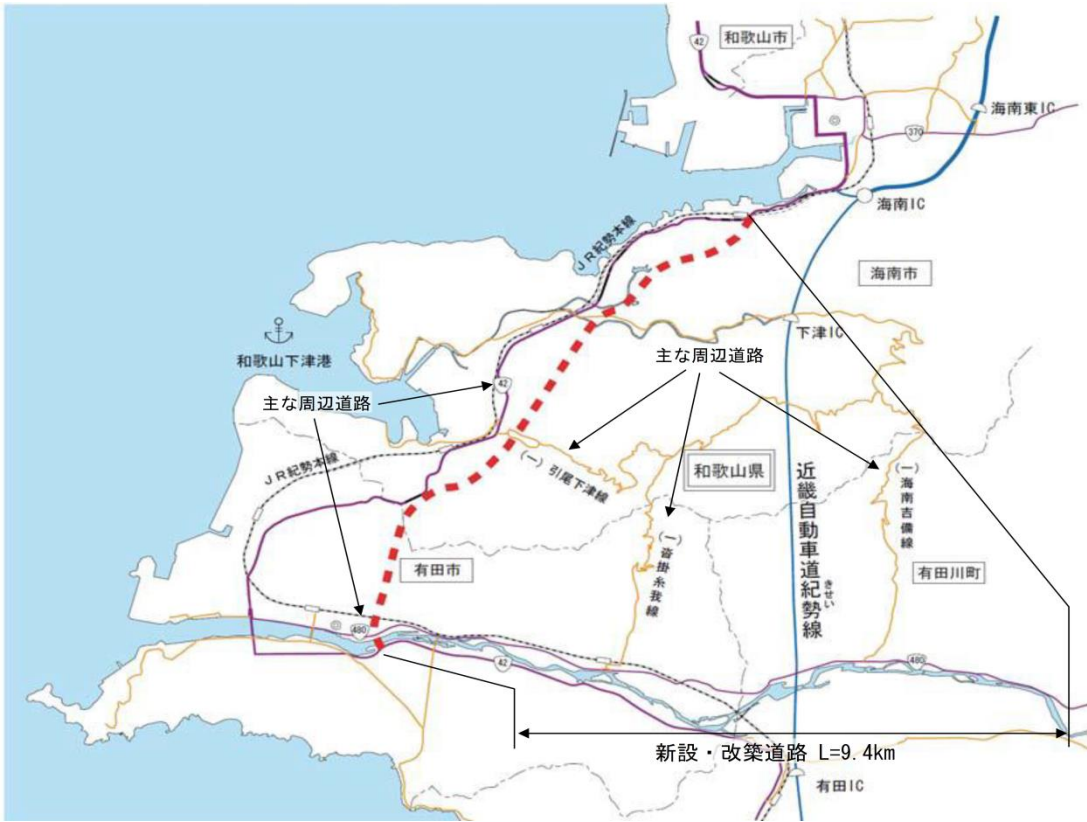
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



交通状況の変化

様式-3①

事業名：有田海南道路（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (9.4km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	0	11,000	
	走行時間 ^{※2}	[分]	0	19	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	0.00	35.11	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道42号 (11.6km)	交通量	[台/日]	15,600	6,800
		走行時間	[分]	25	20
		走行時間費用	[億円/年]	64.05	21.70
	国道480号 (9.6km)	交通量	[台/日]	5,100	4,700
		走行時間	[分]	17	17
		走行時間費用	[億円/年]	15.55	13.93
	(県)海南 吉備線 (13.3km)	交通量	[台/日]	2,500	600
		走行時間	[分]	61	35
		走行時間費用	[億円/年]	27.65	4.11
	(県)引尾 下津線 (9.0km)	交通量	[台/日]	200	100
		走行時間	[分]	20	20
		走行時間費用	[億円/年]	0.91	0.85
	(県)沓掛 糸我線 (4.3km)	交通量	[台/日]	600	0
		走行時間	[分]	9	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.90	0.00
③その他道路合計 (3,235.2km)	走行時間費用	[億円/年]	3,036.10	3,037.63	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：3,292.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	3,145.16	3,113.32	31.84

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

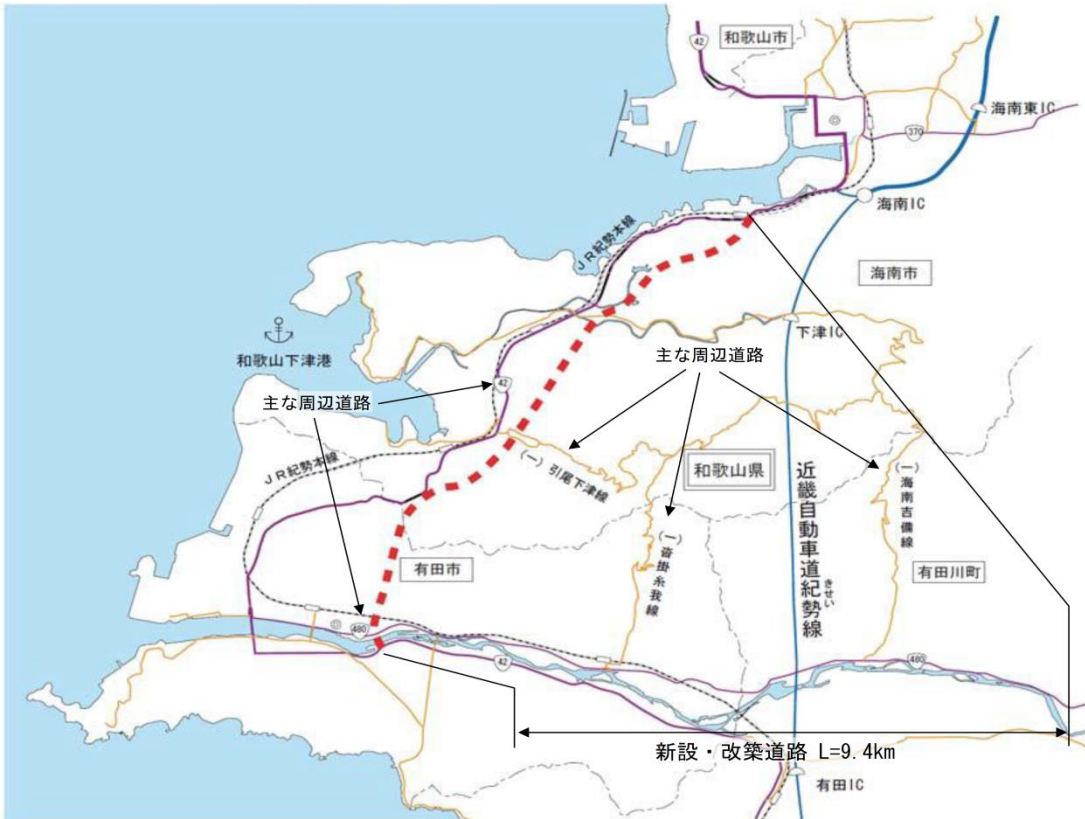
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名：有田海南道路

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成29年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサスベース)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
		その他()	
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
	その他(BPR関数と転換率式の併用による配分)	<input checked="" type="checkbox"/>	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。		
	その他()	<input type="checkbox"/>	

(3)

		項目	チェック欄	
便 益 の 算 定	休日交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
	災害等による 通行止めの 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
			冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
	交通流推計の 時点以外の 便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他 ()	<input type="checkbox"/>	
	車種別時間 価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
独自に設定した値を使用		<input type="checkbox"/>		
車種別走行 経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少 便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走 行経費減少・交通 事故減少以外の便 益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

(4)

		項目	チェック欄	
費用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他()	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載		
		既存の路線の実績を参考に設定		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が 行われない場合 の費用	考慮しない		<input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する		<input type="checkbox"/>
		考慮する 場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)				
その他				
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

費用の現在価値算定表(事業全体)

維持管理費の単価単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 一般国道42号 有田海南道路

単価(億円)	延長(km)	単価(億円)
0.16	9.4	1.51

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単価	現在価値	単価	現在価値
-18年目	H 20	1.4233	104.4	0.70	0.98		
-17年目	H 21	1.3686	103.0	3.20	4.38		
-16年目	H 22	1.3159	101.3	3.22	4.30		
-15年目	H 23	1.2653	99.8	0.69	0.89		
-14年目	H 24	1.2167	99.0	1.66	2.10		
-13年目	H 25	1.1699	99.0	2.29	2.78		
-12年目	H 26	1.1249	101.5	6.11	6.97		
-11年目	H 27	1.0816	102.9	5.29	5.72		
-10年目	H 28	1.0400	102.9	10.98	11.42		
-9年目	H 29	1.0000	102.9	36.78	36.78		
-8年目	H 30	0.9615	102.9	47.56	45.72		
-7年目	H 31	0.9246	102.9	42.95	39.71		
-6年目	H 32	0.8890	102.9	67.34	59.87		
-5年目	H 33	0.8548	102.9	32.78	28.02		
-4年目	H 34	0.8219	102.9	43.84	36.03		
-3年目	H 35	0.7903	102.9	13.89	10.98		
-2年目	H 36	0.7599	102.9	12.04	9.15		
-1年目	H 37	0.7307	102.9	3.21	2.35		
供用開始年次	H 38	0.7026	102.9			1.40	0.98
1年目	H 39	0.6756	102.9			1.40	0.94
2年目	H 40	0.6496	102.9			1.40	0.91
3年目	H 41	0.6246	102.9			1.40	0.87
4年目	H 42	0.6006	102.9			1.40	0.84
5年目	H 43	0.5775	102.9			1.40	0.81
6年目	H 44	0.5553	102.9			1.40	0.78
7年目	H 45	0.5339	102.9			1.40	0.75
8年目	H 46	0.5134	102.9			1.40	0.72
9年目	H 47	0.4936	102.9			1.40	0.69
10年目	H 48	0.4746	102.9			1.40	0.66
11年目	H 49	0.4564	102.9			1.40	0.64
12年目	H 50	0.4388	102.9			1.40	0.61
13年目	H 51	0.4220	102.9			1.40	0.59
14年目	H 52	0.4057	102.9			1.40	0.57
15年目	H 53	0.3901	102.9			1.40	0.55
16年目	H 54	0.3751	102.9			1.40	0.52
17年目	H 55	0.3607	102.9			1.40	0.50
18年目	H 56	0.3468	102.9			1.40	0.48
19年目	H 57	0.3335	102.9			1.40	0.47
20年目	H 58	0.3207	102.9			1.40	0.45
21年目	H 59	0.3083	102.9			1.40	0.43
22年目	H 60	0.2965	102.9			1.40	0.41
23年目	H 61	0.2851	102.9			1.40	0.40
24年目	H 62	0.2741	102.9			1.40	0.38
25年目	H 63	0.2636	102.9			1.40	0.37
26年目	H 64	0.2534	102.9			1.40	0.35
27年目	H 65	0.2437	102.9			1.40	0.34
28年目	H 66	0.2343	102.9			1.40	0.33
29年目	H 67	0.2253	102.9			1.40	0.32
30年目	H 68	0.2166	102.9			1.40	0.30
31年目	H 69	0.2083	102.9			1.40	0.29
32年目	H 70	0.2003	102.9			1.40	0.28
33年目	H 71	0.1926	102.9			1.40	0.27
34年目	H 72	0.1852	102.9			1.40	0.26
35年目	H 73	0.1780	102.9			1.40	0.25
36年目	H 74	0.1712	102.9			1.40	0.24
37年目	H 75	0.1646	102.9			1.40	0.23
38年目	H 76	0.1583	102.9			1.40	0.22

39年目	H	77	0.1522	102.9			1.40	0.21
40年目	H	78	0.1463	102.9			1.40	0.20
41年目	H	79	0.1407	102.9			1.40	0.20
42年目	H	80	0.1353	102.9			1.40	0.19
43年目	H	81	0.1301	102.9			1.40	0.18
44年目	H	82	0.1251	102.9			1.40	0.17
45年目	H	83	0.1203	102.9			1.40	0.17
46年目	H	84	0.1157	102.9			1.40	0.16
47年目	H	85	0.1112	102.9			1.40	0.16
48年目	H	86	0.1069	102.9			1.40	0.15
49年目	H	87	0.1028	102.9	-24.12	-2.48	1.40	0.14
合計					310.39	305.67	69.91	21.93
単純事業費計					334.51		69.91	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道42号 有田海南道路

				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.16	9.4	1.51	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-8年目	H 30	0.9615	102.9	47.56	45.72		
-7年目	H 31	0.9246	102.9	42.95	39.71		
-6年目	H 32	0.8890	102.9	67.34	59.87		
-5年目	H 33	0.8548	102.9	32.78	28.02		
-4年目	H 34	0.8219	102.9	43.84	36.03		
-3年目	H 35	0.7903	102.9	13.89	10.98		
-2年目	H 36	0.7599	102.9	12.04	9.15		
-1年目	H 37	0.7307	102.9	3.21	2.35		
供用開始年次	H 38	0.7026	102.9			1.40	0.98
1年目	H 39	0.6756	102.9			1.40	0.94
2年目	H 40	0.6496	102.9			1.40	0.91
3年目	H 41	0.6246	102.9			1.40	0.87
4年目	H 42	0.6006	102.9			1.40	0.84
5年目	H 43	0.5775	102.9			1.40	0.81
6年目	H 44	0.5553	102.9			1.40	0.78
7年目	H 45	0.5339	102.9			1.40	0.75
8年目	H 46	0.5134	102.9			1.40	0.72
9年目	H 47	0.4936	102.9			1.40	0.69
10年目	H 48	0.4746	102.9			1.40	0.66
11年目	H 49	0.4564	102.9			1.40	0.64
12年目	H 50	0.4388	102.9			1.40	0.61
13年目	H 51	0.4220	102.9			1.40	0.59
14年目	H 52	0.4057	102.9			1.40	0.57
15年目	H 53	0.3901	102.9			1.40	0.55
16年目	H 54	0.3751	102.9			1.40	0.52
17年目	H 55	0.3607	102.9			1.40	0.50
18年目	H 56	0.3468	102.9			1.40	0.48
19年目	H 57	0.3335	102.9			1.40	0.47
20年目	H 58	0.3207	102.9			1.40	0.45
21年目	H 59	0.3083	102.9			1.40	0.43
22年目	H 60	0.2965	102.9			1.40	0.41
23年目	H 61	0.2851	102.9			1.40	0.40
24年目	H 62	0.2741	102.9			1.40	0.38
25年目	H 63	0.2636	102.9			1.40	0.37
26年目	H 64	0.2534	102.9			1.40	0.35
27年目	H 65	0.2437	102.9			1.40	0.34
28年目	H 66	0.2343	102.9			1.40	0.33
29年目	H 67	0.2253	102.9			1.40	0.32
30年目	H 68	0.2166	102.9			1.40	0.30
31年目	H 69	0.2083	102.9			1.40	0.29
32年目	H 70	0.2003	102.9			1.40	0.28
33年目	H 71	0.1926	102.9			1.40	0.27
34年目	H 72	0.1852	102.9			1.40	0.26
35年目	H 73	0.1780	102.9			1.40	0.25
36年目	H 74	0.1712	102.9			1.40	0.24
37年目	H 75	0.1646	102.9			1.40	0.23
38年目	H 76	0.1583	102.9			1.40	0.22
39年目	H 77	0.1522	102.9			1.40	0.21
40年目	H 78	0.1463	102.9			1.40	0.20
41年目	H 79	0.1407	102.9			1.40	0.20
42年目	H 80	0.1353	102.9			1.40	0.19
43年目	H 81	0.1301	102.9			1.40	0.18
44年目	H 82	0.1251	102.9			1.40	0.17
45年目	H 83	0.1203	102.9			1.40	0.17
46年目	H 84	0.1157	102.9			1.40	0.16
47年目	H 85	0.1112	102.9			1.40	0.16
48年目	H 86	0.1069	102.9			1.40	0.15
49年目	H 87	0.1028	102.9			1.40	0.14
合計				256.44	-0.74	69.91	21.93
単純事業費計				263.61		69.91	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表（事業全体）

年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率			割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間便益			走行経費便益			事故減少便益			合計 (徳円)					
	乗用車類 小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類 小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類 小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)	③		現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	割引率4%		
年次	H 29	0.99815	0.99266	1.01170	0.99933	102.9	19.35	5.51	7.04	31.82	22.35	1.74	0.43	0.90	3.07	2.15	1.43	1.01	36.32	25.52
供用開始年次	H 38	0.99814	0.99265	1.01143	0.99953	102.9	19.31	5.47	7.04	31.82	21.50	1.74	0.42	0.91	3.07	2.07	1.43	0.97	36.33	24.54
1年目	H 39	0.99814	0.99265	1.01143	0.99953	102.9	19.27	5.43	7.12	31.83	20.68	1.73	0.42	0.92	3.07	2.00	1.43	0.93	36.33	23.60
2年目	H 40	0.99814	0.99265	1.01130	0.99953	102.9	19.24	5.39	7.21	31.83	19.88	1.73	0.42	0.93	3.08	1.92	1.43	0.89	36.34	22.70
3年目	H 41	0.99814	0.99265	1.01130	0.99953	102.9	19.20	5.35	7.29	31.84	19.12	1.73	0.42	0.94	3.08	1.85	1.43	0.86	36.35	21.83
4年目	H 42	0.99052	0.99303	1.00215	0.99302	102.9	19.02	5.31	7.30	31.64	18.27	1.71	0.41	0.94	3.06	1.77	1.42	0.82	36.12	20.86
5年目	H 43	0.99043	0.99298	1.00214	0.99298	102.9	18.84	5.27	7.32	31.43	17.46	1.70	0.41	0.94	3.05	1.69	1.41	0.78	35.89	19.93
6年目	H 44	0.99034	0.99293	1.00214	0.99293	102.9	18.66	5.24	7.33	31.23	16.68	1.68	0.41	0.94	3.03	1.62	1.40	0.75	35.67	19.04
7年目	H 45	0.99025	0.99288	1.00213	0.99288	102.9	18.48	5.20	7.35	31.03	15.93	1.66	0.40	0.95	3.01	1.55	1.39	0.71	35.44	18.19
8年目	H 46	0.99015	0.99283	1.00213	0.99282	102.9	18.30	5.16	7.37	30.83	15.22	1.65	0.40	0.95	3.00	1.48	1.38	0.68	35.21	17.38
9年目	H 47	0.99005	0.99278	1.00212	0.99277	102.9	18.12	5.13	7.38	30.63	14.54	1.63	0.40	0.95	2.98	1.41	1.37	0.65	34.98	16.60
10年目	H 48	0.98995	0.99273	1.00211	0.99272	102.9	17.94	5.09	7.40	30.43	13.89	1.61	0.39	0.95	2.96	1.35	1.36	0.62	34.75	15.86
11年目	H 49	0.98985	0.99267	1.00211	0.99267	102.9	17.76	5.05	7.41	30.22	13.26	1.60	0.39	0.95	2.94	1.29	1.35	0.59	34.52	15.15
12年目	H 50	0.98975	0.99262	1.00211	0.99261	102.9	17.58	5.02	7.43	30.02	12.67	1.58	0.39	0.96	2.93	1.24	1.34	0.57	34.29	14.47
13年目	H 51	0.98964	0.99256	1.00210	0.99256	102.9	17.40	4.98	7.44	29.82	12.10	1.57	0.39	0.96	2.91	1.18	1.33	0.54	34.07	13.82
14年目	H 52	0.98954	0.99251	1.00210	0.99250	102.9	17.22	4.94	7.46	29.62	11.55	1.55	0.38	0.96	2.89	1.13	1.32	0.52	33.84	13.20
15年目	H 53	0.98942	0.99245	1.00210	0.99245	102.9	17.04	4.90	7.47	29.42	11.03	1.53	0.38	0.96	2.88	1.08	1.31	0.49	33.61	12.61
16年目	H 54	0.98931	0.99239	1.00209	0.99239	102.9	16.86	4.87	7.49	29.22	10.54	1.52	0.38	0.96	2.86	1.03	1.30	0.47	33.38	12.04
17年目	H 55	0.98919	0.99234	1.00209	0.99233	102.9	16.68	4.83	7.51	29.02	10.06	1.50	0.38	0.97	2.84	0.99	1.29	0.45	33.15	11.50
18年目	H 56	0.98908	0.99228	1.00208	0.99227	102.9	16.50	4.79	7.52	28.81	9.61	1.48	0.37	0.97	2.83	0.94	1.28	0.43	32.92	10.98
19年目	H 57	0.98895	0.99222	1.00208	0.99221	102.9	16.32	4.76	7.54	28.61	9.18	1.47	0.37	0.97	2.81	0.90	1.27	0.41	32.69	10.48
20年目	H 58	0.98883	0.99215	1.00208	0.99215	102.9	16.14	4.72	7.55	28.41	8.76	1.45	0.37	0.97	2.79	0.86	1.26	0.39	32.46	10.01
21年目	H 59	0.98871	0.99209	1.00207	0.99209	102.9	15.96	4.68	7.57	28.21	8.36	1.44	0.36	0.97	2.77	0.82	1.25	0.37	32.24	9.56
22年目	H 60	0.98858	0.99203	1.00207	0.99203	102.9	15.78	4.65	7.58	28.01	7.98	1.42	0.36	0.98	2.76	0.79	1.24	0.35	32.01	9.13
23年目	H 61	0.98844	0.99197	1.00206	0.99196	102.9	15.60	4.61	7.60	27.81	7.62	1.40	0.36	0.98	2.74	0.75	1.23	0.34	31.78	8.71
24年目	H 62	0.98831	0.99190	1.00206	0.99190	102.9	15.42	4.57	7.62	27.60	7.28	1.39	0.36	0.98	2.72	0.72	1.22	0.32	31.55	8.32
25年目	H 63	0.98817	0.99183	1.00205	0.99183	102.9	15.24	4.53	7.63	27.40	6.94	1.37	0.35	0.98	2.71	0.69	1.21	0.31	31.32	7.94
26年目	H 64	0.98803	0.99177	1.00205	0.99176	102.9	15.06	4.50	7.65	27.20	6.63	1.36	0.35	0.98	2.69	0.66	1.20	0.29	31.09	7.58
27年目	H 65	0.98788	0.99170	1.00205	0.99169	102.9	14.88	4.46	7.66	27.00	6.33	1.34	0.35	0.99	2.67	0.63	1.19	0.28	30.86	7.23
28年目	H 66	0.98774	0.99163	1.00204	0.99162	102.9	14.70	4.42	7.68	26.80	6.04	1.32	0.34	0.99	2.65	0.60	1.18	0.27	30.64	6.90
29年目	H 67	0.98758	0.99156	1.00204	0.99155	102.9	14.52	4.39	7.69	26.60	5.76	1.31	0.34	0.99	2.64	0.57	1.17	0.25	30.41	6.59
30年目	H 68	0.98743	0.99149	1.00203	0.99148	102.9	14.34	4.35	7.71	26.39	5.50	1.29	0.34	0.99	2.62	0.55	1.16	0.24	30.18	6.29
31年目	H 69	0.98727	0.99141	1.00203	0.99141	102.9	14.16	4.31	7.73	26.19	5.25	1.27	0.33	0.99	2.60	0.52	1.15	0.23	29.95	6.00
32年目	H 70	0.98710	0.99134	1.00203	0.99133	102.9	13.98	4.27	7.74	25.99	5.01	1.26	0.33	1.00	2.59	0.50	1.14	0.22	29.72	5.72
33年目	H 71	0.98693	0.99126	1.00202	0.99126	102.9	13.79	4.24	7.76	25.79	4.78	1.24	0.33	1.00	2.57	0.48	1.13	0.21	29.49	5.46
34年目	H 72	0.98676	0.99119	1.00202	0.99118	102.9	13.61	4.20	7.77	25.59	4.55	1.23	0.33	1.00	2.55	0.45	1.12	0.20	29.26	5.21
35年目	H 73	0.98658	0.99111	1.00201	0.99110	102.9	13.43	4.16	7.79	25.39	4.35	1.21	0.32	1.00	2.54	0.43	1.11	0.19	29.04	4.97
36年目	H 74	0.98640	0.99103	1.00201	0.99102	102.9	13.25	4.13	7.80	25.19	4.15	1.19	0.32	1.00	2.52	0.41	1.10	0.18	28.81	4.74
37年目	H 75	0.98621	0.99095	1.00201	0.99094	102.9	13.07	4.09	7.82	24.98	3.95	1.18	0.32	1.01	2.50	0.39	1.09	0.17	28.58	4.52
38年目	H 76	0.98602	0.99086	1.00200	0.99086	102.9	12.89	4.05	7.84	24.78	3.77	1.16	0.31	1.01	2.48	0.38	1.08	0.17	28.35	4.31
39年目	H 77	0.98582	0.99078	1.00200	0.99077	102.9	12.71	4.02	7.85	24.58	3.60	1.14	0.31	1.01	2.47	0.36	1.07	0.16	28.12	4.11
40年目	H 78	0.98562	0.99069	1.00199	0.99069	102.9	12.53	3.98	7.87	24.38	3.43	1.13	0.31	1.01	2.45	0.34	1.06	0.15	27.89	3.92
41年目	H 79	0.98541	0.99061	1.00199	0.99060	102.9	12.35	3.94	7.88	24.18	3.27	1.11	0.31	1.01	2.43	0.33	1.05	0.14	27.66	3.74
42年目	H 80	0.98519	0.99052	1.00198	0.99051	102.9	12.17	3.90	7.90	23.98	3.12	1.09	0.30	1.02	2.42	0.31	1.04	0.14	27.44	3.57
43年目	H 81	0.98497	0.99043	1.00198	0.99042	102.9	11.99	3.87	7.91	23.77	2.97	1.08	0.30	1.02	2.40	0.30	1.04	0.13	27.21	3.40
44年目	H 82	0.98474	0.99034	1.00198	0.99033	102.9	11.81	3.83	7.93	23.57	2.84	1.06	0.30	1.02	2.38	0.29	1.03	0.12	26.98	3.25
45年目	H 83	0.98450	0.99024	1.00197	0.99023	102.9	11.63	3.79	7.95	23.37	2.70	1.05	0.29	1.02	2.36	0.27	1.02	0.12	26.75	3.10
46年目	H 84	0.98426	0.99014	1.00197	0.99014	102.9	11.45	3.76	7.96	23.17	2.58	1.03	0.29	1.02	2.35	0.26	1.01	0.11	26.52	2.95
47年目	H 85	0.98401	0.99005	1.00197	0.99004	102.9	11.27	3.72	7.98	22.97	2.46	1.01	0.29	1.03	2.33	0.25	1.00	0.11	26.29	2.81
48年目	H 86	0.98375	0.98995	1.00196	0.98994	102.9	11.09	3.68	7.99	22.77	2.34	1.00	0.29	1.03	2.31	0.24	0.99	0.10	26.06	2.68
49年目	H 87	0.98349	0.98985	1.00196	0.98984	102.9	10.91	3.64	8.00	22.57	2.22	0.99	0.29	1.03	2.29	0.23	0.99	0.10	25.83	2.55
合計						773.92														

便益の現在価値算定表 (残事業)

箇所名: 一般国道42号 有田海南道路

走行時間便益

走行経費便益

事故減少便益

合計

年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率			暫引率 (A)	GDP ゾナ	乗用車類			①計	現在価値 ①×(A)			走行経費便益 (億円)			②計	現在価値 ②×(A)			事故減少便益 (億円)			③計	現在価値 ③×(A)			便益合計 (①~③)		現在価値 割引率4%
	乗用車類 小型貨物	普通貨物	全車			小型貨物	普通貨物	①計		①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	②×(A)		③計	③×(A)	④計	④×(A)									
年度	H 29	0.99815	0.99766	1.01170	0.99933	102.9	19.35	5.51	7.04	31.82	22.35	1.74	0.43	0.90	3.07	2.15	1.43	1.01	36.32	25.52	61.33	1.01	36.33	25.54	61.87	25.52			
1年目	H 39	0.99814	0.99255	1.01143	0.99953	102.9	19.31	5.47	7.04	31.82	21.50	1.74	0.42	0.91	3.07	2.07	1.43	0.97	36.33	24.54	61.33	0.97	36.33	23.60	61.87	24.54			
2年目	H 40	0.99814	0.99250	1.01130	0.99953	102.9	19.27	5.43	7.12	31.83	20.68	1.73	0.42	0.92	3.07	2.00	1.43	0.93	36.33	23.60	61.33	0.93	36.34	22.70	61.87	23.60			
3年目	H 41	0.99814	0.99250	1.01130	0.99953	102.9	19.24	5.39	7.21	31.83	19.88	1.73	0.42	0.93	3.08	1.92	1.43	0.89	36.34	22.70	61.33	0.89	36.34	21.83	61.87	22.70			
4年目	H 42	0.99051	0.99303	1.00215	0.99302	102.9	19.02	5.31	5.775	31.64	18.27	1.71	0.41	0.94	3.06	1.77	1.42	0.82	36.12	20.86	61.33	0.82	36.12	19.93	61.87	20.86			
5年目	H 43	0.99042	0.99298	1.00214	0.99298	102.9	18.84	5.27	7.30	31.43	17.46	1.70	0.41	0.94	3.05	1.69	1.41	0.78	35.89	19.93	61.33	0.78	35.89	19.04	61.87	19.93			
6年目	H 44	0.99034	0.99293	1.00214	0.99293	102.9	18.66	5.24	7.33	31.23	16.68	1.68	0.41	0.94	3.03	1.62	1.40	0.75	35.67	19.04	61.33	0.75	35.67	18.19	61.87	19.04			
7年目	H 45	0.99025	0.99288	1.00213	0.99288	102.9	18.48	5.20	7.35	31.03	15.93	1.66	0.40	0.95	3.01	1.55	1.39	0.71	35.44	18.19	61.33	0.71	35.44	17.38	61.87	18.19			
8年目	H 46	0.99015	0.99283	1.00213	0.99282	102.9	18.30	5.16	7.37	30.83	15.22	1.65	0.40	0.95	3.00	1.48	1.38	0.68	35.21	17.38	61.33	0.68	35.21	16.60	61.87	17.38			
9年目	H 47	0.99005	0.99278	1.00212	0.99277	102.9	18.12	5.13	7.38	30.63	14.54	1.63	0.40	0.95	2.98	1.41	1.37	0.65	34.98	16.60	61.33	0.65	34.98	15.86	61.87	16.60			
10年目	H 48	0.98995	0.99273	1.00211	0.99272	102.9	17.94	5.09	7.40	30.43	13.89	1.61	0.39	0.95	2.96	1.35	1.36	0.62	34.75	15.86	61.33	0.62	34.75	15.15	61.87	15.86			
11年目	H 49	0.98985	0.99267	1.00211	0.99267	102.9	17.76	5.05	7.41	30.22	13.26	1.60	0.39	0.95	2.94	1.29	1.35	0.59	34.52	15.15	61.33	0.59	34.52	14.47	61.87	15.15			
12年目	H 50	0.98975	0.99262	1.00211	0.99261	102.9	17.58	5.02	7.43	30.02	12.67	1.58	0.39	0.96	2.93	1.24	1.34	0.57	34.29	14.47	61.33	0.57	34.29	13.82	61.87	14.47			
13年目	H 51	0.98964	0.99256	1.00210	0.99256	102.9	17.40	4.98	7.44	29.82	12.10	1.57	0.39	0.96	2.91	1.18	1.33	0.54	34.07	13.82	61.33	0.54	34.07	13.20	61.87	13.82			
14年目	H 52	0.98954	0.99251	1.00210	0.99250	102.9	17.22	4.94	7.46	29.62	11.55	1.55	0.38	0.96	2.89	1.13	1.32	0.52	33.84	13.20	61.33	0.52	33.84	12.61	61.87	13.20			
15年目	H 53	0.98942	0.99245	1.00210	0.99245	102.9	17.04	4.90	7.47	29.42	11.03	1.53	0.38	0.96	2.88	1.08	1.31	0.49	33.61	12.61	61.33	0.49	33.61	12.04	61.87	12.61			
16年目	H 54	0.98931	0.99239	1.00209	0.99239	102.9	16.86	4.87	7.49	29.22	10.54	1.52	0.38	0.96	2.86	1.03	1.30	0.47	33.38	12.04	61.33	0.47	33.38	11.50	61.87	12.04			
17年目	H 55	0.98919	0.99234	1.00209	0.99233	102.9	16.68	4.83	7.51	29.02	10.06	1.50	0.38	0.97	2.84	0.99	1.29	0.45	33.15	11.50	61.33	0.45	33.15	10.98	61.87	11.50			
18年目	H 56	0.98908	0.99228	1.00208	0.99227	102.9	16.50	4.79	7.52	28.81	9.61	1.48	0.37	0.97	2.83	0.94	1.28	0.43	32.92	10.98	61.33	0.43	32.92	10.48	61.87	10.98			
19年目	H 57	0.98898	0.99222	1.00208	0.99221	102.9	16.32	4.76	7.54	28.61	9.18	1.47	0.37	0.97	2.81	0.90	1.27	0.41	32.69	10.48	61.33	0.41	32.69	10.01	61.87	10.48			
20年目	H 58	0.98888	0.99215	1.00208	0.99215	102.9	16.14	4.72	7.55	28.41	8.76	1.45	0.37	0.97	2.79	0.86	1.26	0.39	32.46	10.01	61.33	0.39	32.46	9.56	61.87	10.01			
21年目	H 59	0.98877	0.99209	1.00207	0.99209	102.9	15.96	4.68	7.57	28.21	8.36	1.44	0.36	0.97	2.77	0.82	1.25	0.37	32.24	9.56	61.33	0.37	32.24	9.35	61.87	9.56			
22年目	H 60	0.98868	0.99203	1.00207	0.99203	102.9	15.78	4.65	7.58	28.01	7.98	1.42	0.36	0.98	2.76	0.79	1.24	0.35	32.01	9.35	61.33	0.35	32.01	9.14	61.87	9.35			
23年目	H 61	0.98858	0.99197	1.00206	0.99196	102.9	15.60	4.61	7.60	27.81	7.62	1.40	0.36	0.98	2.74	0.75	1.23	0.34	31.78	9.14	61.33	0.34	31.78	8.71	61.87	9.14			
24年目	H 62	0.98844	0.99190	1.00206	0.99190	102.9	15.42	4.57	7.62	27.60	7.28	1.39	0.36	0.98	2.72	0.72	1.22	0.32	31.55	8.71	61.33	0.32	31.55	8.32	61.87	8.71			
25年目	H 63	0.98831	0.99183	1.00205	0.99183	102.9	15.24	4.53	7.63	27.40	6.94	1.37	0.35	0.98	2.71	0.69	1.21	0.31	31.32	8.32	61.33	0.31	31.32	7.94	61.87	8.32			
26年目	H 64	0.98817	0.99177	1.00205	0.99176	102.9	15.06	4.50	7.65	27.20	6.63	1.36	0.35	0.98	2.69	0.66	1.20	0.29	31.09	7.94	61.33	0.29	31.09	7.58	61.87	7.94			
27年目	H 65	0.98803	0.99170	1.00205	0.99169	102.9	14.88	4.46	7.66	27.00	6.33	1.34	0.35	0.99	2.67	0.63	1.19	0.28	30.86	7.58	61.33	0.28	30.86	7.23	61.87	7.58			
28年目	H 66	0.98788	0.99163	1.00204	0.99162	102.9	14.70	4.42	7.68	26.80	6.04	1.32	0.34	0.99	2.65	0.60	1.18	0.27	30.64	7.23	61.33	0.27	30.64	6.90	61.87	7.23			
29年目	H 67	0.98774	0.99156	1.00204	0.99155	102.9	14.52	4.39	7.69	26.60	5.76	1.31	0.34	0.99	2.64	0.57	1.17	0.25	30.41	6.90	61.33	0.25	30.41	6.59	61.87	6.90			
30年目	H 68	0.98758	0.99149	1.00203	0.99148	102.9	14.34	4.35	7.71	26.39	5.50	1.29	0.34	0.99	2.62	0.55	1.16	0.24	30.18	6.59	61.33	0.24	30.18	6.29	61.87	6.59			
31年目	H 69	0.98743	0.99141	1.00203	0.99141	102.9	14.16	4.31	7.73	26.19	5.25	1.27	0.33	0.99	2.60	0.52	1.15	0.23	29.95	6.29	61.33	0.23	29.95	6.00	61.87	6.29			
32年目	H 70	0.98727	0.99134	1.00203	0.99133	102.9	13.98	4.27	7.74	25.99	5.01	1.26	0.33	1.00	2.59	0.50	1.14	0.22	29.72	6.00	61.33	0.22	29.72	5.72	61.87	6.00			
33年目	H 71	0.98710	0.99126	1.00202	0.99126	102.9	13.79	4.24	7.76	25.79	4.78	1.24	0.33	1.00	2.57	0.48	1.13	0.21	29.49	5.72	61.33	0.21	29.49	5.46	61.87	5.72			
34年目	H 72	0.98693	0.99119	1.00202	0.99118	102.9	13.61	4.20	7.77	25.59	4.55	1.23	0.33	1.00	2.55	0.45	1.12	0.20	29.26	5.46	61.33	0.20	29.26	5.21	61.87	5.46			
35年目	H 73	0.98676	0.99111	1.00201	0.99110	102.9	13.43	4.16	7.79	25.39	4.35	1.21	0.32	1.00	2.54	0.43	1.11	0.19	29.04	5.21	61.33	0.19	29.04	4.97	61.87	5.21			
36年目	H 74	0.98658	0.99103	1.00201	0.99102	102.9	13.25	4.13	7.80	25.19	4.15	1.19	0.32	1.00	2.52	0.41	1.10	0.18	28.81	4.97	61.33	0.18	28.81	4.74	61.87	4.97			
37年目	H 75	0.98640	0.99095	1.00200	0.99094	102.9	13.07	4.09	7.82	24.98	3.95	1.18	0.32	1.01	2.50	0.39	1.09	0.17	28.58	4.74	61.33	0.17	28.58	4.52	61.87	4.74			
38年目	H 76	0.98621	0.99086	1.00200	0.99086	102.9	12.89	4.05	7.84	24.78	3.77	1.16	0.31	1.01	2.48	0.38	1.08	0.16	28.35	4.52	61.33	0.16	28.35	4.31	61.87	4.52			
39年目	H 77	0.98602	0.99078																										

(全事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
国道42号	有田海南道路	2	9.4km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費			式	1	24,541	
	改良費		式	1	881	
		土工	m ³	379,583	273	切土(144,648m ³)、盛土(234,935m ³)
		軟弱地盤改良工	式	1	59	
		法面工	m ²	20,000	129	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	353	補強土壁、大型ブロック積、ブロック積
		函渠工	m	430	67	
	橋梁費		m	733	4,641	
		100m以上	m	527	3,690	
		100m未満	m	206	951	
	トンネル費		m	6,510	18,329	
		NATM	m	6,510	18,329	1～5号トンネル
		シールド	m			
	IC・JCT費		箇所			
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費		m ²	56,257	486	
		車道舗装	m ²	51,282	465	
		歩道舗装	m ²	4,975	21	
	付帯施設費		式		204	
		交通管理施設工	式	1	204	
		その他	式			
	②用地及補償費		式	1	4,743	
用地費			m ²	78,634	2,412	
		宅地	m ²	15,609	1,442	
		田畑	m ²	62,265	940	
		山林・原野	m ²	760	30	
補償費	式	1	2,331			
③間接経費		式	1	6,616	地質調査、測量、設計にかかる費用等	
事業費合計					35,900	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道42号	有田海南道路	2	9.4km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	9.4	1,600	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	5,950	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			7,550	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

(残事業)

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
国道42号	有田海南道路	2	9.4km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費			式	1	22,346	
	改良費		式	1	527	
		土工	m ³	349,156	251	切土(126,435m ³)、盛土(222,721m ³)
		軟弱地盤改良工	式	1	10	
		法面工	m ²	20,000	129	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	100	補強土壁、大型ブロック積、ブロック積
		函渠工	m	238	37	
	橋梁費		m	709	3,140	
		100m以上	m	503	2,189	
		100m未満	m	206	951	
	トンネル費		m	6,460	17,989	
		NATM	m	6,460	17,989	1～5号トンネル
		シールド	m			
	IC・JCT費		箇所			
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費		m ²	56,257	486	
		車道舗装	m ²	51,282	465	
		歩道舗装	m ²	4,975	21	
	付帯施設費		式		204	
交通管理施設工		式	1	204		
その他		式				
②用地及補償費		式	1	1,715		
	用地費		m ²	44,052	717	
		宅地	m ²	1,987	184	
		田畑	m ²	41,305	503	
		山林・原野	m ²	760	30	
補償費	式	1	998			
③間接経費		式	1	4,351	地質調査、測量、設計にかかる費用等	
事業費合計					28,412	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道42号	有田海南道路	2	9.4km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	9.4	1,600	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	5,950	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			7,550	

【単価等について】

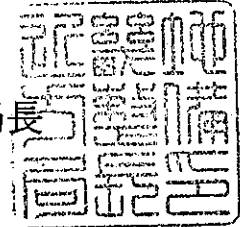
○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。



国近整企画127号
平成29年11月2日

和歌山県知事 殿

近畿地方整備局長



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針
(原案)の作成に係る意見照会について(依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対する御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、近畿地方整備局事業評価監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成29年11月30日(木)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成29年11月21日(火)までに、別紙について貴職の御意見を承りたく依頼いたします。

※御意見の送付・問い合わせ先

近畿地方整備局 企画部 企画課 事業評価係

電話 06-6942-1141

FAX 06-6942-7463

(別紙)

(再評価)

【河川事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
熊野川直轄河川改修事業	事業継続	

※貴職の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道42号冷水拡幅	事業継続	
一般国道42号有田海南道路	事業継続	

※貴職の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

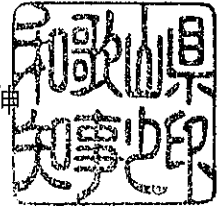


県総第 11020006 号

平成29年11月15日

近畿地方整備局長 様

和歌山県知事 仁坂吉伸



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の
作成に係る意見照会について（回答）

平成29年11月2日付け国近整企画127号で意見照会のあった標記につ
いて、下記のとおり回答します。

記

○対応方針（原案）に対する意見について

・熊野川直轄河川改修事業

熊野川直轄河川改修事業は、流域住民の安全、安心を確保するために重
要な事業であり、現時点では、対応方針（原案）のとおり事業継続が妥当と
考えます。

なお、緊急対策特定区間に位置付けられている熊野川の浸水被害の軽減
対策については、5年間での完了をお願いするとともに、より一層のコスト
縮減等に努め、一日も早い完成をお願いします。

また、平成23年台風12号では計画高水流量を超過する洪水により、
堤防越水による浸水被害が発生しているため、更なる治水安全度の確保に向
け、河川整備基本方針の早急な見直しをお願いします。

・一般国道42号冷水拡幅

・一般国道42号有田海南道路

国道42号冷水拡幅及び有田海南道路は、国道42号の渋滞解消や交通
事故の減少を図るとともに、有田市と海南市の生活圏の連携強化による地域
活性化に資する道路であります。

また、国道42号の現道は南海トラフ巨大地震などによる津波で浸水す
ることが想定されており、大規模地震への備えとしても整備が不可欠である
ことから、対応方針（原案）のとおり、事業継続が妥当と考えます。

なお、事業実施に当たっては、より一層のコスト縮減等に努め、一日も
早い供用をお願いします。